平成14年度～

消防秋田

題字　初代会長　松野嵯吉
定　価　1部　5円
（購読料は年会費に含む）
発行人　〒010-0001
秋田市中通4丁目3－23
秋田県消防協会
会長　柴田　康二郎
電話　018－832－3791
FAX　018－834－2706
印　刷　〒010-0951
秋田市山王7丁目5－29
株式会社　松原印刷社
電話　018－862－8760

平成十三年度全国統一防火標語

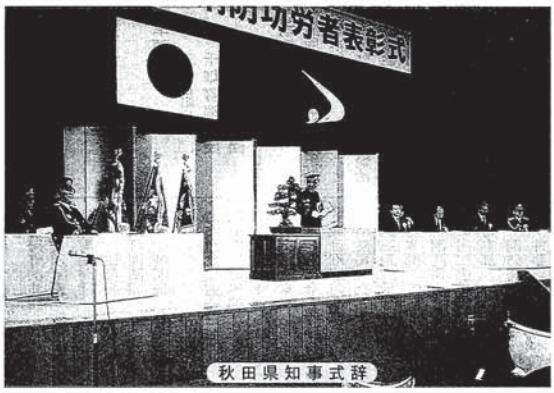
たしかめて
火を消してから
次のこと

秋田県、秋田県消防協会は、平成十三年度消防功労者表彰式を、三月二十六日県正庁で行われた。

表彰式は、平成十三年における年間無火災を達成した町村および優良消防団に対する秋田県知事表彰並びに無火災を達成した消防団に対する秋田県消防協会長表彰が行われた。

また、去る二月八日東京都（日本消防会館・ニッショウホール）において授与された日本消防協会長表彰また、三月六日同じくニッショウホールで行われた消防庁長官表彰の伝達が併せて行われた。

晴れの受章の栄に欲された消防機関および消防関係者は次のとおりです。


秋田県知事式辞

秋田県知事表彰

◎優良消防機関

（1）表彰旗

東成瀬村消防団

（2）竿頭綬

能代市消防団
八郎潟町消防団

◎平成十三年度無火災町村

八森町
東成瀬村

消防庁長官表彰

◎表彰旗

山本郡南部地区消防一部事務組合消防本部
八竜町消防団

◎功労賞（四名）

能代地区消防一部事務組合消防本部　消防監　袴田　司
湖東地区行政一部事務組合消防本部　消防司令長　菅原　靖朗
比内町消防団　団長　高松　貞夫
田代町消防団　団長　高橋　正光

◎永年勤続功労賞六十一名

秋田市消防本部　消防監　池田　征雄
秋田市消防本部　消防監　佐藤　昭一
鹿角広域行政組合消防本部　消防司令長　玉内　隆一
大館周辺広域市町村圏組合消防本部　消防司令　根本　健
能代地区消防一部事務組合消防本部　消防士長　落合　鎮雄
二ツ井藤里地区消防本部　消防司令　池端　賢造
湖東地区行政一部事務組合消防本部　消防司令　三浦　正雄
男鹿地区消防一部事務組合消防本部　消防司令　古仲　義昭
河辺雄和地区消防一部事務組合消防本部　消防指令長　高橋　一義
矢島地区消防組合消防本部　消防司令　小松　作榮
本荘地区消防事務組合消防本部　消防司令長　遠藤　照夫
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部　消防司令長　佐藤　富男
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部　消防司令　森澤　明敏
横手平鹿広域市町村圏組合消防本部　消防司令長　丸谷　正
横手平鹿広域市町村圏組合消防本部　消防司令長　中山　榮治
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部　消防司令　福士　繁蔵
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部　消防司令長　武石　忠
秋田市消防団　副団長　進藤吉兵衛
秋田市消防団　副団長　加賀屋金雄
秋田市消防団　副団長　相場　秀勇
横手市消防団　分団長　照井　孝一
横手市消防団　分団長　鈴木　淳一
横手市消防団　分団長　加賀屋正悦
大館市消防団　分団長　武田　方昭
大館市消防団　分団長　若松　實
大館市消防団　分団長　齋藤　亮一
本荘市消防団　副団長　菅原　正一
男鹿市消防団　副団長　渡邊久治郎
湯沢市消防団　分団長　加納　敬悦
鷹巣町消防団　分団長　成田　岩直
比内町消防団　分団長　鎌田　誠市
森吉町消防団　分団長　金　勝彦
田代町消防団　分団長　佐藤　禮造
合川町消防団　副団長　櫻田　五郎
八森町消防団　分団長　奈良　德男
五城目町消防団　副団長　畑澤　甚一
昭和町消防団　分団長　青木惣四郎
八郎潟町消防団　分団長　北島　光春
飯田川町消防団　副団長　古戸　正俊
井川町消防団　分団長　伊藤　甚一
若美町消防団　部長　三浦　文夫
大潟村消防団　副団長　阿部　文夫
河辺町消防団　分団長　鈴木　正勝
仁賀保地区消防組合仁賀保地区消防団　副団長　鈴木　錬
岩城町消防団　分団長　今野　英勝
大内町消防団　副団長　遠藤　満
神岡町消防団　分団長　鈴木　久雄
角館町消防団　副団長　鎌田義太郎
六郷町消防団　分団長　藤谷　恭道
中仙町消防団　分団長　藤田　昭義
田沢湖町消防団　分団長　小玉　兼治
西木村消防団　分団長　中村喜四郎
増田町消防団　副団長　高橋　勝實
雄物川町消防団　分団長　佐藤庫之助
大森町消防団　副団長　伊藤　金作
稲川町消防団　副団長　佐藤　榮介
雄勝町消防団　分団長　高橋　一雄
羽後町消防団　副団長　鈴木　清綱
羽後町消防団　分団長　武田　德一
羽後町消防団　分団長　猪岡　專一
皆瀬村消防団　副分団長　高橋　清治

永年勤続功労賞受章者代表
秋田市消防団副団長　進藤　吉兵衛

秋田県消防協会長表彰

◎平成十三年度優良消防機関

八森町消防団
東成瀬村消防団

◎消防団地域活動表彰

大曲市消防団

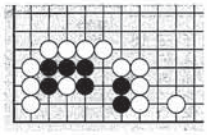
平成十三年度新たに設けられたもので地域活動に特に貢献（花火大会警備）があったとして受賞された。

秋田県協会長表彰

詰碁コーナー

今年度（四月号）から詰碁を連載することといたしました。（問題は、関西棋院囲碁ダイアリーより）

問題　黒先（5分で3級）



【ヒント】
生きる急所は？

（解答は次ページ）

消防団員のための
消防互助年金
10年確定年金
10年保証終身年金
特別年金
年金は毎年3％複利で運増
年金開始前の死亡・解約に一時金
加入申込みは消防事務担当へ

森田ポンプ　ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管　消防被服一式
各種消火器　消防機器一式
株式会社　協立
株式会社　能代消防センター
能代市柴町12の3　〒016-0846
TEL　(0185)(52)6361
(52)6494

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
綜合防災設備センター
株式会社　高義商会
（営業種目）
トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種
〒012-0111　本社　秋田県稲川町　℡(0183)(42)2125
〒019-0504　十文字町本町　℡(0182)(42)0032
〒012-0844　湯沢市田町　℡(0183)(73)2588

日本消防協会長表彰

◎表彰旗
湯沢市消防団

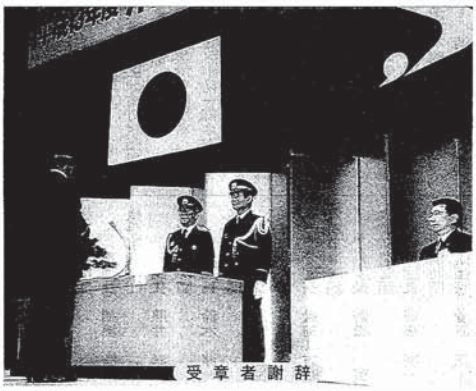
◎竿頭綬
五城目町消防団
千畑町消防団
山内村消防団

◎功績章（二十四名）
大館周辺広域市町村圏組合消防本部　消防指令　椿谷　賢治
本荘地区消防事務組合　消防監　大場　孝一
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部　消防司令長　熊谷　勇
秋田市消防団　分団長　嵯峨　重美
秋田市消防団　分団長　伊藤　四郎
横手市消防団　分団長　加賀谷正悦
男鹿市消防団　団長　小野　健一
湯沢市消防団　副団長　越後谷　弘
大曲市消防団　団長　間瀬　堅一
鹿角市消防団　副団長　米沢将之助
比内町消防団　副団長　菅原　悟
合川町消防団　団長　關　多悦
山本町消防団　分団長　新堀　鉄雄
八竜町消防団　団長　門間新太郎
井川町消防団　団長　中山金四郎
雄和町消防団　分団長　伊藤　長英
大内町消防団　副団長　遠藤　満
西木村消防団　団長　伊藤　博氏
太田町消防団　団長　高橋　毅
増田町消防団　副団長　小野寺金十郎
平鹿町消防団　団長　佐藤　義昭
雄物川町消防団　分団長　佐藤庫之助
稲川町消防団　副団長　佐藤　榮介
羽後町消防団　副団長　佐藤　壽一

◎精績章（五十三名）
秋田市消防本部　消防指令　小野　與一
秋田市消防本部　消防指令　伊藤　勉
五城目町消防本部　消防司令長　近藤　貞治
大館周辺広域市町村圏組合消防本部　消防司令　成田　啓一
鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部　消防司令　成田　則雄
二ツ井藤里地区消防本部　消防司令　石川　稔
河辺雄和地区消防一部事務組合消防本部　消防指令補　関　英信
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部　消防司令長　伊藤　正勝
横手平鹿広域市町村圏組合消防本部　消防監　永沢　正毅
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部　消防司令　福士　繁蔵
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部　消防司令長　武石　忠
秋田市消防団　副団長　榎　政良
秋田市消防団　分団長　佐藤多十郎
横手市消防団　分団長　鈴木　淳一
大館市消防団　副団長　成田十喜男
大館市消防団　分団長　日景　一志
大曲市消防団　分団長　戸嶋　宣彦
鹿角市消防団　分団長　宮沢　武雄
小坂町消防団　分団長　中村　健一
田代町消防団　分団長　佐藤　禮造
合川町消防団　副団長　櫻田　五郎
琴丘町消防団　分団長　工藤　豊
二ツ井町消防団　分団長　藤田喜一郎
八森町消防団　副団長　佐々木宣幸
峰浜村消防団　副団長　笠原　勝一
昭和町消防団　団長　藤原　武雄
八郎潟町消防団　分団長　北嶋　光春
天王町消防団　分団長　藤原　孝志
若美町消防団　部長　三浦　文夫
河辺町消防団　分団長　鈴木　誠徳
仁賀保地区消防団　分団長　佐藤　義秋
岩城町消防団　副分団長　仁部　賢治
岩城町消防団　副分団長　金森　徳夫
西目町消防団　副団長　須藤　紘之
大内町消防団　分団長　佐々木秋正
大内町消防団　分団長　菊地　敬作
神岡町消防団　副団長　藤井　盛作
角館町消防団　副団長　林崎　一美
中仙町消防団　副団長　高橋　尊雄
協和町消防団　副団長　田村　勉
南外村消防団　副団長　今野　恭男
稲川町消防団　副団長　佐藤　隆吉
雄勝町消防団　分団長　高橋　一雄
羽後町消防団　分団長　藤原　信三
東成瀬村消防団　副団長　佐々木隆男
皆瀬村消防団　副分団長　伊藤　三男

◎優良婦人消防隊
十二牲婦人消防隊
八郎潟町婦人消防隊
鷹巣町婦人消防隊　隊長　中林　洋子
大雄村北部婦人消防隊　隊長　佐々木とし子
大館市第一婦人消防隊　副隊長　佐藤真由美
太田町消防団　分団長　高橋　實
増田町消防団　分団長　高橋　光一
平鹿町消防団　分団長　齋藤喜代美
雄物川町消防団　分団長　伊藤　一美
大森町消防団　分団長　内藤　清一
十文字町消防団　分団長　和泉　芳美
大雄村消防団　分団長　奥山　孝

日本消防協会長表彰伝達


受章者謝辞

新団長紹介

仙北郡西仙北町消防団
団長　佐々木　康之
（ささき・やすゆき）

昭和十六年七月六日生まれ、六十歳。昭和三十九年六月十九日入団、班長、部長、副分団長、分団長、副団長を経て、平成十三年十一月一日付けで団長に就任。（農業）

平成十三年度消防団幹部特別研修

仙北郡中仙町消防団
団長　草彌忠誠

平成十三年度第二十八回消防団特別研修が平成十四年一月十五日から十八日までの三泊四日で開催されました。全国四十七都道府県から一名づつの参加であり、私もその研修生の一員として参加させていただきました。

この研修の目的は、消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため幹部に対して各種の教養を行い消防団の指導者を養成するものとし毎年消防庁の補助事業により日本消防協会が実施するものでした。

一月十五日若干の不安を抱えながら集合場所である東京都千代田区のホテル・ルポール麹町を目指し予定の時間内に受付を済ましてホテルの三人部屋に入り三泊を寝食共にする山形県、宮城県の皆さんと挨拶を交わして、その後全体で研修についての課題討議と研修の案内がなされ北海道から順に自己紹介が行われました。

二日目、朝六時起床し準備をして朝食の後、制服、制帽にて研修生四十余名がホテルからタクシー十三台に乗車して日本消防会館に向かいました。途中目を疑ったのが、警備の厳しさにびっくり！

アメリカ大使館、附近、国会周辺がものものしい警備だったのです。もちろん昨年のアメリカでの同時多発テロによる警戒である事は一目瞭然でありました。

そんな思いの中、日本消防会館に到着して五階の研修室にて開講式が行われ三日間の研修を掌握し研修を円滑に実施するために総代一人と班長三人が任命され総代の号令のもとに講義を受ける事になりました。

日消ホールで記念撮影をして再び研修室に入り日本消防協会長、徳田正明氏の挨拶があり、今回の研修で皆さんは各都道府県から一名の代表研修生であり三日間健康に留意してしっかりと研修しなくてはならないと言ったその後、今回、ある県の代表者が病気のため欠席と言う事だが誠にけしからん、事前に日程が示されているのに健康管理をおこたってしかも代理も出席させんとは何事かと、大声で一喝した事にさすが威厳のある日消会長だと思ったのです。午前九時から午後四時三十分まで三日間講義の連続では眠くなるだろうと話をしていた四十六人の研修生はあの会長の一言で三日間誰一人として眠る事なく講義を受けたのです。（次の日には一喝された、ある県の代理の団長が参加してきました。）

三日間の研修は、消防庁長官の訓話、消防庁次長や各課長からは現在の日本に於ける最新の情報提供がされ又、東京消防庁の第一線で活躍されている防災部長、警防課長の講義の中では、それぞれ、三宅島の避難状況や新宿雑居ビル火災で多くの死焼者を出した生々しい状況対策等の説明をいただきました。

たくさんの方々と出逢いそれぞれの意見や情報の交換をし、長いと思っていた三泊四日はあっという間に過ぎた感じでした。

最終日は修了証、記念写真、記念章をいただき激励されて研修が終了しました。私にとって大変に意義のあるすばらしい研修をさせていただきました。色々とご指導下さいました方々に心より感謝申し上げます。東京を後にして車窓から富が見えてきた時、故郷がみょうになつかしく感じました！

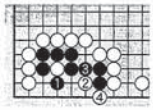
寄稿のお願い

消防訓練（水防、消火活動、予防・広報活動等特徴的なものの、団員（職）の趣味などを通じて相互の友愛をはかれるようなものを御紹介願います。

（解答）黒先イキ

【正解図】
黒1が生きる急所。あと白2・4なら黒7まで。

【参考図】
黒1と取るのは白2でアウト。



地域の防災、災害対策に貢献！
消防　ポンプ自動車　小型ポンプ　ホース
設備　火災報知器　スプリンクラー　消火器
猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番9号　TEL018（863）1551㈹
猿田興業ビル7F　FAX018（824）3651

株式会社タカギ
秋田県横手市寿町1番28号
TEL　(0182)(32)3880
（営業種目）
日本機械自動車ポンプ　トーハツポンプ　各種消防機械器具　消防設備保守点検
キンバイホース　シバウラポンプ　各種消火器

▲一般のお客様
1人室（洗面所、トイレ付）　¥3,500
2人室（バス、トイレ付）　¥7,000
▲会員の方
1人室（洗面所、トイレ付）　¥3,200
2人室（バス、トイレ付）　¥6,400
ホテル　あきた
秋田市中通4丁目3の23
（秋田県消防会館内）電話018(832)4111

消防秋田

題字　初代会長　松野盛吉
定価　1部　5円
（購読料は年会費に含む）
発行人　〒010-0001
秋田市中通4丁目3－23
秋田県消防協会
会長　柴田康二郎
電話　018－832－3791
FAX　018－834－2706
印刷　〒010-0951
秋田市山王7丁目5－29
株式会社　松原印刷社
電話　018－862－8760

平成十四年度全国統一防火標語

消す心
置いてください
火のそばに

平成14年 春の叙勲
本県・消防功労者14名受章

平成一四年春の叙勲が、恒例により、みどりの日の四月二十九日に発表された。

この度、本県消防関係者で晴れの栄誉に輝いた方は、勲五等双光旭日章一名、勲五等瑞宝章四名、勲六等単光旭日章五名、勲六等瑞宝章四名の計十四名の方々であります。

この伝達式は、五月七日秋田市の秋田ビューホテルで行われ、寺田知事から受章者一人一人に伝達された。

長年の功労により、受章の栄誉に浴された方々は次のとおりであり、心からお祝い申し上げます。

勲五等双光旭日章

元秋田市消防本部消防監　伊勢　登　73

勲五等瑞宝章

元五城目町消防団長　伊藤義男　70
元琴丘町消防団長　大山昭典　71
元大内町消防団長　長谷部　久　71
元南外村消防団長　八嶋成一　76

勲六等単光旭日章

元岩城町消防団分団長　茜屋徳悦郎　73
元阿仁町消防団長　魚住吉二　68
元湯沢市消防団副団長　高橋賢太郎　71
元五城目町消防本部司令長　千田安太郎　69
元神岡町消防団長　傳野善助　76

勲六等瑞宝章

元秋田市消防団分団長　飯島春雄　77
元本荘市消防団分団長　小松久郎　75
元鷹巣町消防団分団長　佐藤仁一郎　76
元八森町消防団分団長　土屋喜代治　75

第56期・消防職員
初任教育入校式
秋田県消防学校

平成十四年度秋田県消防学校消防職員初任教育（第五十六期）入校式が四月十日消防学校講堂において、県内各消防本部から四十五名の入校生を迎え、西村哲男県出納長を始め、柴田康二郎県消防協会長、各消防本部消防長などの来賓と、父兄が列席して行われた。

この初任教育研修は、各消防本部の新規採用消防職員に対し、消防職員として必要な知識、技能の修得と強い精神力、体力を養成するため行うものであります。

入校式は、高橋光男学校長の式辞に続いて西村出納長、柴田協会長、佐藤正敏県消防長会会長（秋田市消防本部消防長）の祝辞があった。

続いて入校生も代表し秋田市消防本部徳永根央消防士が「規律ある学生生活を通じ、勉学・研修に励み、消防職員として地域住民の信頼に値する人格陶冶に努める」と力強く宣誓し、六ヶ月教育訓練に入った。

各消防本部の入校者数は次のとおりである。

秋田市　十名
鹿角広域行政　二名
大館周辺広域　二名
鷹巣阿仁広域　五名
二ツ井藤里地区　二名
能代地区　二名
山本南部地区　一名
男鹿地区　二名
河辺雄和地区　四名
本荘地区　二名
矢島地区　一名
大曲仙北広域　六名
横手平鹿広域　四名
湯沢雄勝広域　二名

消防学校入校して

鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部
消防士　近藤典昭

入校式を終え数日が経ち、仲間との会話も弾むようになってようやく生活のリズムがつかめるようになってきた。今、学んでいる事は全てが新鮮で、興味、関心を持ち貪欲に学ぼうとする気持ちでいっぱいだ。しかし、その反面、大きな不安も同時に抱えている。

消防学校に入校する前、私が所属している消防本部の方で約一週間、仕事内容や署での生活の流れなどを説明していただく研修期間があった。私の予想をはるかに超える膨大な仕事量で、覚えなければいけない事が沢山あり、それまでの浮かれ気分が、一気に不安へと変わってしまった。仕事をしている先輩達の姿を見てもテキパキと慣れた手つきで正確に仕事をしているし、果たして自分にこの仕事が務まるだろうかと心配になった。

しかし、いつまでも下を向いている訳にはいかないので、今は署の先輩達を目標にして、前向きに努力していこうと思っている。できればなるべく早く目標に到達したいという気持ちがあるので、常に人よりも努力して早く現場で活躍できる消防人になりたい。

焦らずに、確実な技術と知識を身に付けて着々と前に進んでいこうと思っている。そのためにはまず、この初任教育課程で学ぶことをしっかりと吸収して自分のものにしたい。これから先の基礎となるものなので揺るぎない確実なものにしたいと思っている。覚えなければいけないことが非常に多い仕事なのでこの半年間、妥協せず、自分に厳しく、徹底的に頭と体で覚えていくつもりだ。

又、消防に関してはみんなスタートラインは同じなので、同期や同年代には負けたくないという気持ちがある。良きライバルを見付けて、妥協できない状況をつくって、互いに刺激しあって向上していければいいと思う。

新任紹介

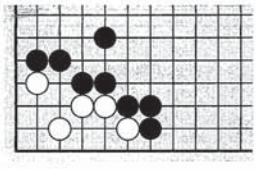
秋田県は、平成十四年度これまでの生活環境文化部消防防災課を危機管理等総合的災害に対処するため「総務部総合防災課」とし、新任課長に部次長を専任課長として発令した。

秋田県総務部次長（兼）総合防災課長
鎌田浩治（57歳）

男鹿市北浦出身
明治大学政治経済学部政治学科卒
昭和四十四年四月県職員、平成八年四月大曲市助役、平成十年四月障害福祉課長、平成十三年五月健康福祉部次長、本年四月一日現職。

詰碁コーナー

問題　黒先（5分で二段）



【ヒント】
少しヨミが必要。

（解答は次ページ）

消防団員のための
消防互助年金
10年確定年金
10年保証終身年金
特別年金
年金は毎年3％複利で逓増
年金開始前の死亡・解約に一時金
加入申込みは消防事務担当へ

森田ポンプ　ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管　消防被服一式
各種消火器　消防機器一式
株式会社 協立
株式会社 能代消防センター
能代市柴町12の3 〒016-0846
TEL (0185)(52)6361
(52)6494

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
綜合防災設備センター
株式会社 高義商会
（営業種目）
トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種
〒012-0111 本社 秋田県稲川町 TEL(0183)(42)2125
〒019-0504 十文字町本町 TEL(0182)(42)0032
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

新消防長紹介

大館周辺広域市町村圏組合消防本部消防長　消防監　鳴海　義衛
（なるみ　よしえ）
昭和二十一年十月六日生まれ五十五才、昭和四十二年十二月一日消防吏員、平成六年四月一日予防課長、平成十年四月一日総務課長、平成十二年四月一日消防署長、本年四月一日付けで消防長に就任。

二ツ井藤里地区行政組合消防本部消防長　消防監　藤田　定
（ふじた　さだむ）
昭和二十二年六月十五日生まれ五十四才、二ツ井町職員、教育委員会生涯学習課長、生活環境課長、本年四月一日二ツ井藤里地区行政組合へ派遣、同日付けで消防本部消防長に就任。

男鹿地区消防本部消防長　消防監　古仲　東一
（こなか　とういち）
昭和十九年七月二十九日生まれ五十七才、昭和四十四年四月一日男鹿市消防署消防士、昭和四十八年六月一日男鹿地区消防一部事務組合消防署、本部総務係長同補佐、同課長、同次長を経て、本年四月一日付けで消防長に就任。

本荘地区消防事務組合消防本部消防長　消防監　佐藤　政夫
（さとう　まさお）
昭和十九年一月十二日生まれ五十八才、昭和四十年七月本荘市役所職員、建設課長、農村整備課長、総務主幹、本年四月一日消防事務組合に派遣、同日付で消防長に就任。

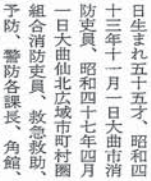
仁賀保地区消防組合消防本部消防長　消防監　高橋　誠
（たかはし　まこと）
昭和二十一年九月二十二日生まれ五十五才、昭和四十四年四月一日消防吏員、平成四年四月総務課長補佐、平成九年四月総務課長、平成十三年四月消防署長兼総務課長、本年四月一日付けで消防長に就任。

大曲仙北広域市町村圏組合消防本部消防長　消防正監　里見　喜代治
（さとみ　きよじ）
昭和二十一年六月二十六日生まれ五十五才、昭和四十三年十一月一日大曲市消防吏員、昭和四十七年四月一日大曲仙北広域市町村圏組合消防吏員、救急救助、予防、警防各課長、角館、大曲各署長、本部次長を経て、本年四月一日付けで消防長に就任。

新団長紹介

横手市消防団長　太田　悦郎
（おおた　えつろう）
昭和十一年十二月二十一日生まれ六十五才、昭和四十八年八月三十一日入団、班長、部長、分団長を経て、平成九年一月十四日副団長、本年四月一日付けで団長に就任。（クリーニング業）

本荘市消防団長　菅原　正一
（すがわら　しょういち）
昭和十五年七月五日生まれ六十一才、昭和三十九年一月一日入団、班長、部長、副分団長、分団長を経て、平成四年七月一日副団長、本年四月十八日付けで団長に就任。（農業）



比内町消防団長　小松　永悦
（こまつ　えいえつ）
昭和十五年一月二十七日生まれ六十二才、昭和三十六年四月一日入団、班長、副分団長、分団長を経て、平成八年四月一日副団長、本年四月一日付けで団長に就任。（農業）

藤里町消防団長　淡路　龍美
（あわじ　たつみ）
昭和十五年一月二十三日生まれ六十二才、昭和四十八年六月十九日入団、班長、副分団長、分団長を経て、平成十年十一月一日副団長、本年四月一日付けで団長に就任。（農業）

神岡町消防団長　細谷　正利
（ほそや　まさとし）
昭和十一年一月十二日生まれ六十六才、昭和四十年九月一日入団、班長、部長、副分団長を経て、平成十年四月二日副団長、本年四月一日付けで団長に就任。（農業）

角館町消防団長　渡邊　廣作
（わたなべ　こうさく）
昭和十四年十一月三十日生まれ六十二才、昭和三十八年八月十日入団、班長、部長、副分団長、分団長を経て平成九年四月一日副団長、本年四月一日付けで団長に就任。（自転車販売業）

南外村消防団長　今野　恭男
（こんの　やすお）
昭和十六年四月八日生まれ六十一才、昭和四十一年八月一日入団、班長、部長、副分団長、分団長を経て、平成十一年十月一日副団長、本年五月一日付けで団長に就任。（農業）

千畑町消防団長　細井　諭
（ほそい　さとし）
昭和十八年十二月二日生まれ五十八才。昭和四十六年八月十六日入団、班長、部長、副分団長、分団長を経て、平成二年四月七日副団長、本年四月七日付けで団長に就任。（建設業）

平成14年度　危険物取扱者保安講習（法定講習について）

1．保安講習の制度

◆この講習は、消防法第13条の23に定められたいわゆる法定講習で、危険物施設（製造所・貯蔵所・取扱所）において、危険物の取扱いに従事している危険物取扱者（危険物保安監督者を含む）は、定められた期間内に受講しなければならない義務があります。

◆定められた受講期限とは、原則として危険物の規制に関する規則により同項の講習を受けた日から３年以内に受けなければならないとされております。（危険物の規制に関する規則第58条の14）

① 危険物の取扱作業に従事した日から１年以内
② 危険物の取扱作業に従事している方で平成11年度に免状の交付を受けた方
③ 危険物の取扱作業に従事している方で平成11年度に保安講習を受けた方
※ 保安講習会を受けて３年未満の方、又は現在危険物取扱作業に従事していない方でも希望する方は受講できます。

◆受講義務者が、受講期限内に受講しないときは「危険物取扱者免状返納命令制度」の減点の対象となり、悪質な場合は、危険物の全ての免状の返納を命じられることもあります。

2．受講申請の手続き

◆受付期間　平成14年７月26日（金）～８月８日（水）
◆申請書等配布受付場所
・秋田市の受付……社団法人　秋田県危険物安全協会連合会
〒010-0001
秋田市中通４丁目３－23　消防会館内
☎018－836－3236
・上記以外の受付……各地区危険物安全協会
（各地区の消防本部の中にあります。）

平成14年度第一期乙種第４類及び丙種危険物取扱者試験準備講習会の案内

●申込方法　㈱秋田県危険物安全協会連合会事務所で受付します。
（秋田市中通４丁目３－23　秋田県消防会館内　TEL018－836－3236）

●受付期間　平成14年６月14日（金）～６月27日（木）
電　話（018－836－3236）……９：00～17：00
ＦＡＸ（018－836－3235）……24時間

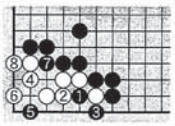
●講習日時　講習の種類は、
乙種第４類　①平日コース
②土日コース
③補習講習会（①か②を受講した方が対象の試験直前コース。）
丙種

講習の種類		番号	講習日	時間	講習場所	受講料
(1)乙種第4類	①平日コース	1	平成14年7月9日(火)～10日(水)	9:00～17:00	大曲仙北広域交流センター	個人14,000円
		2	平成14年7月11日(木)～12日(金)		能代山本広域交流センター	会員 9,000円
		3	平成14年7月15日(月)～16日(火)		本荘由利地域職業訓練センター	（県内各危険物安全協会の会員の事業所の方・学生は会員割引料金で受講出来ます。学生証を提示して下さい。）
		4	平成14年7月18日(木)～19日(金)		大館市立中央公民館	
		5	平成14年7月23日(火)～24日(水)		湯沢雄勝広域交流センター	
		6	平成14年8月１日(木)～２日(金)		秋田市文化会館	
	②土日コース	7	平成14年7月６日(土)～７日(日)	9:00～17:00	秋田テルサ	15,000円
	③補習講習会	8	平成14年8月25日(日)	9:30～16:00	秋田市文化会館	8,000円
（2）丙種		9	平成14年7月21日(日)	9:00～16:00	秋田テルサ	9,000円

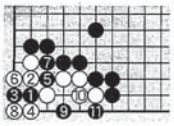
※受験願書手続
この講習の申し込みとは別に、財団法人消防試験研究センター秋田県支部に受験願書を提出しなければ受験出来ませんので必ず受付期間内に手続きをして下さい。
＊試験日……平成14年９月１日（日）
＊願書受付期間……平成14年７月12日（金）～22日（月）
＊願書受付先……財団法人消防試験研究センター秋田県支部（TEL018－836－5673）

＊準備講習会に関する問い合わせ先
社団法人　秋田県危険物安全協会
〒010-0001　秋田市中通４丁目３－23　秋田県消防会館内
TEL　018－836－３２３６
FAX　018－836－３２３５
http://www.cna.ne.jp/～kiankyo/
e-mail　kiankyo@can.ne.jp

解答　黒先白死



【参考図】黒１と取れば白は楽生き。



【正解図】黒１・３のツケサガリがうまい。白４には黒５から９が手順。

地域の防災、災害対策に貢献！
消防　ポンプ自動車　小型ポンプ　ホース
設備　火災報知器　スプリンクラー　消火器
猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番９号　ＴＥＬ018（863）1551㈹
猿田興業ビル７Ｆ　ＦＡＸ018（824）3651

株式会社タカギ
秋田県横手市寿町１番28号
ＴＥＬ　(0182)(32)3880
（営業種目）
日本機械自動車ポンプ　トーハツポンプ　各種消防機械器具　消防設備保守点検
キンバイホース　シバウラポンプ　各種消火器

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門
寺田染工場
横手市清川町　☎32－0416

消防秋田

題字　初代会長　松野藍吉
定価　1部　5円
（郵送料は年会費に含む）
発行人　〒010-0001
秋田市中通4丁目3－23
秋田県消防協会
会長　柴田康二郎
電話　018－832－3791
FAX　018－834－2706
印刷　〒010-0951
秋田市山王7丁目5－29
株式会社　松原印刷社
電話　018－862－8760

平成十四年度 秋田県消防協会代議員会

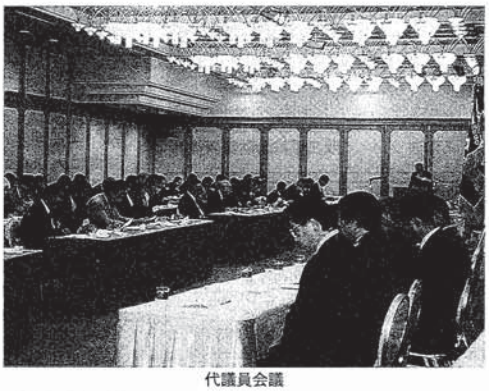
事業計画及び予算決定

平成十四年度秋田県消防協会代議員会が、五月二十二日午後一時三十分から秋田市（キャッスルホテル）において、代議員及び来賓など約百名が出席して開催された。

奥山副会長が開会を宣言し、殉職消防職団員の御霊に対し黙とうを捧げた後、柴田会長が挨拶し、続いて来賓として秋田県出納長西村哲男氏、秋田県議会総務企画委員長鶴田有司氏、秋田県警察本部警備部長安保鉄夫氏の祝辞があった。続いて、議事に入り議長は規定により柴田会長が努め、議事録署名員に山本町消防団長石井喜美彦氏、雄物川町消防団長佐藤耕悦氏を指名し、平成十三年度事業の概要報告がされた後各議案を審議した。

まず、平成十三年度決算関係について一括説明の後監事から慎重に監査した結果、経理状況並びに協会業務運営全般にわたり正確に処理されているとの報告を受け満場一致で原案どうり承認された。続いて平成十四年度事業計画及び予算、その他の議案についても原案どうり可決承認され代議員会を終了した。

柴田会長あいさつ


代議員会議

平成十四年度全国統一防火標語
消す心　置いてください　火のそばに

平成14年度行事予定表

平成14年6月10日現在

月	日	行事 秋田県消防協会	行事 日本消防協会
4月	12日（金）午前	会計監査（消防会館　会議室）	
	19日（金）午前	罹災互助会審議委員会（消防会館　会議室）	
	26日（金）午前	役員会（消防会館　会議室）	
5月	17日（金）		都道府県消防協会事務局長会議
	22日（水）午後	平成14年度代議員会（秋田キャッスルホテル）	
	24日（金）		日本消防協会役員会議（正副会長・理事・代議員）
6月	上旬		第18回日中消防友好調査（中国コース）
	7日（金）午後	協会支部事務担当者会議（消防会館　会議室）	
	25日（火）	消防団実務担当者会議（ホテルメトロポリタン秋田）	
	27日（木）～28日（金）		ブロック別実務担当者研修会
7月	上旬		海外消防事情調査（ヨーロッパコース）
	11日（木）～12日（金）	役員会・第55回秋田県消防大会（ホテル鹿角）	
	17日（水）～19日（金）		第18回全国消防操法大会審査員研修会
	18日（木）～19日（金）	東北地区消防連絡協議会（秋田キャッスルホテル）	
	26日（金）～27日（土）		第8回全国女性消防団員活性化大坂大会
8月	27日（火）	第39回秋田県消防操法大会（秋田県消防学校）	
9月	11日（水）	慰霊祭・役員会（八幡神社・弥高神社社務所）	
	19日（木）午前		第21回全国消防殉職者慰霊祭（ニッショーホール）
	19日（木）午後		日本消防協会役員会議（正副会長・理事）
10月	16日（水）～18日（金）	日消委託指導員研修（秋田県消防学校）	
	24日（木）		第18回全国消防操法大会（横浜市戸塚）
	下旬		海外消防事情調査（アメリカコース）
1月	17日（金）午前	防火ポスター審査会	
	21日（火）～24日（金）		消防団幹部特別研修
	24日（金）	役員会	
2月	6日（木）		共済事業還元車両等交付式
	7日（金）午前		日本消防協会役員会議（正副会長・理事・代議員）
	7日（金）午後		第55回日本消防協会定例表彰（ニッショーホール）
	17日（月）～18日（火）		第2回消防団幹部候補中央特別研修（男性）
	20日（木）～21日（金）		第2回消防団幹部候補中央特別研修（女性）
3月	中旬	平成14年度消防功労者表彰式	

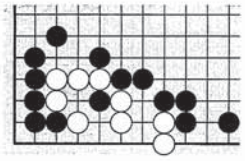
臨時役員会開催

代議員会に先立ち臨時役員会を開催し推薦理事を選出した。

推薦理事である仙北郡南外村佐藤庄司団長の辞任に伴い理事に同郡協和町鈴木正雄団長が就任されました。

詰碁コーナー

問題　黒先（5分で初段）



【ヒント】
コウでは不満。

（関西棋院囲碁ダイアリーより）

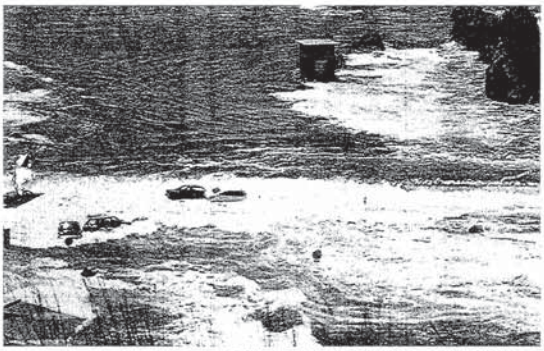
消防団員のための
消防互助年金
10年確定年金
10年保証終身年金
特別年金
年金は毎年3％複利で逓増
年金開始前の死亡・解約に一時金
加入申込みは消防事務担当へ

森田ポンプ　ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管　消防被服一式
各種消火器　消防機器一式
株式会社 協立
株式会社 能代消防センター
能代市柴町12の3 〒016-0846
TEL（0185）（52）6361
（52）6494

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
綜合防災設備センター
株式会社 高義商会
（営業種目）トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種
〒012-0111 本社 秋田県稲川町 TEL（0183）（42）2125
〒019-0504 十文字町本町 TEL（0182）（42）0032
〒012-0844 湯沢市田町 TEL（0183）（73）2588

日本海中部地震（昭和58年5月26日発生）津波の爪跡

海が無気味に膨れ上がった次の瞬間、白波がいっきょに押し寄せ、観光客や乗用車が波に消えた。（男鹿水族館前駐車場）



下関市みなと新聞社 藤田　正氏撮影
秋田魁新報社発行『秋田沖大地震』より

押し寄せる津波　　秋田県総合防災課提供

想劇　二度と繰返すな

大地震を想定し訓練

五月二十六日は、「県民防災の日」。秋田市をはじめ県内各地で大規模な防災訓練が行われた。この訓練は、昭和五十八年五月二十六日に発生した日本海中部地震の経験を風化させず、災害に備えようと始まった全県規模の訓練で今年は十八回目となった。

「本県沖を震源とするマグニチュード7・7の大地震が発生、沿岸部を中心に震度6を記録し、津波などによる被害が出た」という大規模地震を想定した訓練で、県、市町村、県警、消防本部、特別養護老人ホーム、さらに住民など官民百五十九団体、約六千人が参加し行われた。なお、事前に実施したものを含めると、七百二十六団体、約七万二千人が参加した。

県庁では、職員約三百人が参加し、従来の訓練に加え、災害対策本部と災害現場が連携した救助訓練も行った。特に今回は、二次災害への対応訓練を初めて行い医師（四人）が同乗したドクターカーや、化学防護服を装着した消防署員が被災者の救出とガスの分析を行った。

一方、災害対策本部には六十九市町村から被災状況が刻々と寄せられ、県警ヘリ「やまどり」から被災地の状況が大型スクリーンに映し出され、職員は緊張した表情で、自衛隊への災害出動要請や、けが人の搬送先の手配などに追われた。

男鹿市においては訓練のほか、戸賀、加茂青砂、五里合の三カ所で日本海中部地震による津波犠牲者の慰霊祭が行われた。

県立男鹿水族館わきの「マリア像」前で当日観光旅行中に駐車場で車ごと波にさらわれ遭難したスイス人女性マグダレーナ・ブランデンベルガーさんの慰霊祭が行われた。

また、遠足に来ていて昼食休憩中に波にさらわれ遭難した合川町立南小学校児童生徒十三人が犠牲となった加茂青砂では、遺族を始め金田合川町長、地元住民など多数参列し、「地震津波殉難の碑」の前に十三本のローソクをともし、しめやかに供養式が行われた。

津波～その時に備えて

日本は、世界有数の地震多発国であるとともに、周囲を海に囲まれているため、過去に幾度となく津波による被害を受けてきました。最近では「平成５年北海道南西沖地震」による津波の急襲により多数の尊い人命が奪われました。

本県においても昭和58年５月26日発生した日本海中部地震により大きな被害を受けた、特に予想（日本海では津波は発生しないと言う誤った説があった）もしなかった津波の来襲によって多くの尊い人命を失うこととなった。あれから19年県民にとって段々記憶が遠のき、また津波を知らない世代と変ってきた。

これから本格的な夏を迎え、海水浴、サーフィン、ダイビングといったマリンスポーツや磯釣りなどで海辺へ出かける機会が多くなり、気軽にボートなどで海上に出る人も多くなってきます。

これからの季節、皆さんが海辺にいるときに、もし津波が起きたら、どんな行動が大事であるか、一人ひとりがそのことを知っておくということは、自分自身や周囲の人の身を守るうえで、非常に大切なことです。

そこで、津波に対する心得をいくつかご紹介します。

「消防の動」３月号抜すい

〈海辺などにいるとき〉

1　強い地震（震度４程度以上）を感じたとき又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難する。
2　地震を感じなくても、津波警報が発表されたときは、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難する。
3　正しい情報をラジオ、テレビ広報車などを通じて入手する。
4　津波注意報でも、海水浴や磯釣りは危険なので行わない。
5　津波は繰り返し襲ってくるので警報、注意報解除まで気をゆるめない。

〈ボートなどで海にいるとき〉

6　強い地震（震度４程度以上）が発生したことを察知したときは、直ちに港外退避する。
7　地震を感じなくても、津波警報、注意報が発表されたらすぐ港外退避する。
8　正しい情報をラジオ、テレビ、無線などを通じて入手する。
9　港外退避できない小型船は、高い所に引き上げて固縛するなど最善の措置をとる。
10　津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報解除まで気をゆるめない。

海辺や海上にいるときは、「地震イコール津波すぐ避難」ということをあらためて覚えておいて下さい。

〈津波の特徴〉

1　津波の原因は、地震によるものがもっとも多い。
2　V字型の湾（リアス式海岸等）は危ない。（一般に外洋に直面するV字型の湾や海岸で、陸に近づくにつれて急に浅くなっているところでは、津波の波高は急に高くなります。）
3　津波は川を逆流することがある。（避難するときは、川沿いを避けましょう。）
4　津波は繰り返し来襲する。（津波は時間をおいて何回か繰り返し襲ってきます。また、第１波よりも第２波、第３波の方が高くなることもあります。）
5　海の異常現象を感じたら、警戒し、避難する。（津波が来襲する前兆として、遠雷のような音が聞こえたり、干潮でもないのに海水が急に引いたりしたということが言われています。

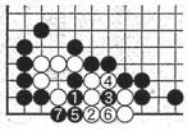
趣味探訪

吉田兼廣（72才）南秋田郡天王町消防団長。堂々たる風格、昭和24年５月入団。正に筋金入りの団長さんである。消防の守護神としてご活躍されている吉田団長さん。どう見ても手先が器用とは思えないのだが……どうしてどうして大変繊細で根気のいる「卵殻蒔絵」の大家……である。平成元年秋田職業能力開発センター「卵殻蒔絵セミナー」に入門。数々の作品を発表している。中でも20号「菩薩」は県展での入選作でご自身自慢の作である。

平成13年12月24日～27日秋田県立美術館「卵殻蒔絵作品展」より

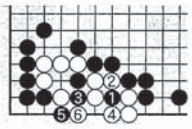
解答　黒先白死

【正解図】



黒1と出るのが好手。白2なら黒3とハネ込んでケリをつける。

【参考図】



黒1からはコウになる。

地域の防災、災害対策に貢献！

消防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番9号　TEL.018（863）1551㈹
猿田興業ビル7F　FAX018（824）3651

株式会社タカギ
秋田県横手市寿町1番28号
TEL　(0182)(32)3880

（営業種目）
日本機械自動車ポンプ
トーハツポンプ
各種消防機械器具
消防設備保守点検
キンバイホース
シバウラポンプ
各種消火器

▲一般のお客様
1人室（洗面所、トイレ付）　¥3,500
2人室（バス、トイレ付）　¥7,000
▲会員の方
1人室（洗面所、トイレ付）　¥3,200
2人室（バス、トイレ付）　¥6,400

ホテル あきた
秋田市中通4丁目3の23
（秋田県消防会館内）電話018(832)4111

消防秋田

題字　初代会長　松野桑吉
定価　1部　5円
（障読料は年会費に含む）
発行人　〒010-0001
秋田市中通4丁目3－23
秋田県消防協会
会長　柴田　廣二郎
電話　018－832－3791
FAX　018－834－2706
印刷　〒010-0951
秋田市山王7丁目5－29
株式会社　松原印刷社
電話　018－862－8760

市町村消防団実務担当者会議

六月二十五日(日)秋田市（ホテルメトロポリタン秋田）において平成十四年度秋田県市町村消防団実務担当者会議が開催された。

会議には、消防業務を担当している市町村職員六十七名が出席し、平成十四年度行事内容、消防功労者表彰及び各種共済制度などについて、県協会から説明（県協会、日本消防協会についてがあった。その後、「消防団員の公務災害についての補償と防止」と題し、「消防団員等公務災害補償等共済基金」事務局長　清矢　守氏の講演があった。出席者は直接事務手続を担当しているため真剣に聞き入り、活発な質疑応答が交わされるなど、みのり多い講演で全日程を終了した。

第31回 消防救助技術 秋田県大会開催

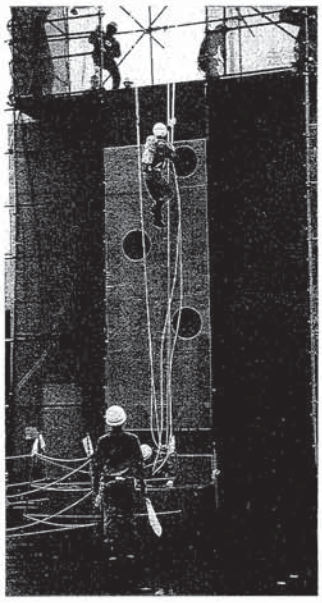
六月二十五日(火)由利郡岩城町の秋田県消防学校において、秋田県消防長会が主催する「第三十一回消防救助技術秋田県大会」が開催された。

この大会は、各種災害現場における救助技術の向上と、いかなる災害活動にも耐える教鞭な体力と精神力を養うことを目的として、毎年開催されている。

また、この大会は東北大会の予選を兼ねた大会とあって、県内十七消防本部から出場した一三七の個人、団体延べ二九〇名の精鋭が日頃鍛えた救助技術を披露した。

開会式は、永沢正毅横手平鹿広域市町村圏組合消防長の開会宣言で始まり、里見喜代治大会副会長から激励の挨拶と審判長訓辞があった。続いて、出場者を代表し、秋田市消防本部秋田署消防士長大塚　豪が力強く宣誓して競技が開始された。

なお、七月十八日(木)山形県消防学校で開催される「東北地区消防救助技術指導会」に、この大会の上位入賞者の中から次の隊員が出場することとなった。



1　引揚救助
1位　鹿角広域　田口昌明チーム
2位　男鹿地区　三浦　学チーム
3位　秋田市　石黒　淳チーム

2　ロープブリッジ渡過
1位　鷹巣阿仁広域　金田　光明
2位　鹿角広域　石川　洋
3位　鹿角広域　兎沢　俊幸
4位　鷹巣阿仁広域　米沢　隆広
5位　秋田市　吹谷　謙和

3　はしご登はん
1位　大曲仙北広域　小松　範史
2位　鹿角広域　田鎖　和幸
3位　大曲仙北広域　中嶋　美彰

4　ロープブリッジ救出
1位　大曲仙北広域　三浦祐樹チーム
2位　大曲仙北広域　佐藤玲緒奈チーム
3位　秋田市　大塚　豪チーム

5　ロープ登はん
1位　鷹巣阿仁広域　中嶋　伸博
2位　鹿角広域　高畑　政弘
3位　鹿角広域　川上　論

3位　秋田市　伊藤　俊之
5位　能代地区　嶋田　俊英

6　ほふく救出
1位　秋田市　松橋徳博チーム
2位　鹿角広域　阿部茂雄チーム
3位　湯沢雄勝広域　伊勢和幸チーム
4位　秋田市　保坂一茂チーム
4位　大曲仙北広域　安達謙太郎チーム

7　ロープ応用登はん
1位　鷹巣阿仁広域　中嶋伸博チーム
2位　大曲仙北広域　鈴木一伊チーム
3位　大館周辺広域　佐々木賀之チーム

8　斜めブリッジ救助
1位　秋田市　近藤信哉チーム
2位　本荘地区　畠山　章チーム

9　障害突破
1位　横手平鹿広域　佐藤正樹チーム

平成十四年度全国統一防火標語
消す心　置いてください　火のそばに

新団長紹介

北秋田郡田代町消防団
団長　佐藤　禮造

（さとう　れいぞう）
昭和十五年一月二十一日生まれ、六十二才、昭和四十二年二月一日入団、班長、部長、副分団長、分団長を経て平成十四年六月一付で団長に就任した。（自営業）

速報（県消防協会より）

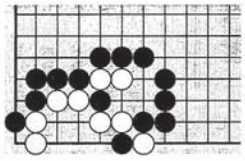
十一月鹿角市で開催予定の第五十五回秋田県消防大会は、台風六号の接近に伴い中止いたしました。

柴田会長（三副会長）は、中止を決断するに当たって、台風の進路など情報の集収をしながら当日明け方の「ギリギリ」まで推移を見守っていたが、注意報から警報が発令され、一部河川において警戒水位に達するなど不測の事態が懸念されたことから「断腸」の思いで中止を決定いたしました。

大会の準備を進めてこられた鹿角支部実行委員会の皆様、そして、県、市町村、消防団をはじめ、ご多忙の中大会にご臨席を予定された皆様に対し、衷心よりお詫びを申し上げるとともにご理解賜りたくお願い申し上げます。

詰碁コーナー

問題　黒先（5分で3級）



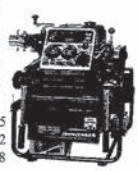
【ヒント】
白の虚をつく。

（関西棋院囲碁ダイアリーより）

消防団員のための
消防互助年金
10年確定年金
10年保証終身年金
特別年金
年金は毎年3％複利で逓増
年金開始前の死亡・解約に一時金
加入申込みは消防事務担当へ

森田ポンプ　ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管　消防被服一式
各種消火器　消防機器一式
株式会社　協立
株式会社　能代消防センター
能代市柴町12の3　〒016-0846
TEL　(0185)(52)6361
(52)6494

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
綜合防災設備センター
株式会社　高義商会
（営業種目）
トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0111　本社　秋田県稲川町　℡(0183)(42)2125
〒019-0504　十文字町本町　℡(0182)(42)0032
〒012-0844　湯沢市田町　℡(0183)(73)2588

消防互助年金加入者の海外視察参加者募集

消防互助年金事業団では、昨年度の第5回海外視察参加者アンケート結果を踏まえ福利厚生事業の一環として、麗（うるわ）しの国イタリア（ローマ・フィレンツェ・ミラノ）を巡る海外視察を、消防互助年金加入者約8万人とその家族を対象に、参加者を募集することにしました。

記

1．日　　時　　平成14年11月5日～11月12日（火）
2．主な視察先および日程　　ボンジョルノ！麗しの国イタリア（ローマ・フィレンツェ・ミラノ）**7泊8日**
3．参加費用　　**¥210,000**（お一人様）
4．参加資格　　消防互助年金加入者あるいは家族（男女の別は問いません。）
5．募集人員　　**60名**（募集開始日を8月12日とし定員になり次第締め切ります。）
6．連絡方法　　下記へ電話またはFAXでお願いいたします。（加入者番号を忘れないで下さい。）
日本消防協会消防互助年金事業団
電話：03-3503-1481　FAX：03-3503-1480
連絡を受け次第、旅行業者から案内書（申込書等）をお届けいたします。

支部だより

能代纏（まとい）神社例大祭で無火災を祈願！

能代市の纏（まとい）神社祭典が六月二十三日、二十四日の両日、多数の来賓を迎え盛大に開催された。

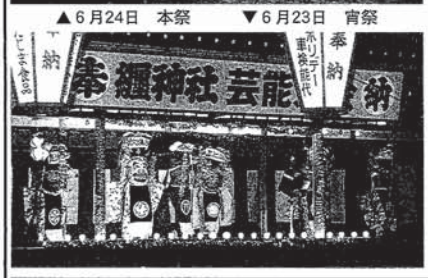
纏神社は昭和十四年、消防組が消防団に改組されて「まとい」が団旗に変わったのを契機に、古来から郷土能代を火災から守り、幾多の困難の道を歩んだ「まとい」を鎮火の神として祀ろうとして昭和十七年六月二十四日に社殿を建立し鎮座式を挙行、以後毎年六月二十四日を例祭日として祭祀を行っているものである。このような神社は全国的にも非常に珍しく、能代市民の防火防災に対する意識の高さの現れでもある。

例祭は、長らく六月二十四日だけの祭典であったが、昭和五十四年からは前日の二十三日に宵祭りとして消防団員による奉納芸能大会も行われるようになり、今年で第二十四回をむかえた。

来賓として秋田県総務部総合防災課長代理をはじめ、秋田県山本地方部長、秋田県消防協会事務局長などを迎え、消防職団員約四百名が参加して、自慢の歌や踊りを披露し、大いに会場をわかせた。

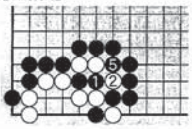
梅雨の真っ直中での開催にも関わらず過去の二十三回の奉納芸能大会では、日頃の消防関係者の行いの良さを反映してか、一度も雨にたたかれたこともなく、今年も朝からの晴天でこれを証明した。また二十四日の本祭りには消防関係者約百名が出席し、纏神社講中代表の中田　潤消防団長や袴田　司消防長らが玉串を捧げ、心新たに能代市の無火災を祈願して二日に渡る例大祭を終了した。

▲6月24日　本祭　　▼6月23日　宵祭



（解答）黒先白死

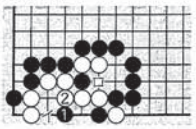
【正解図】



❸＝❹＝1の左

黒1と虚をついて、ここの眼を奪う。

【参考図】



黒1は白2で生き。あとイとロが見合い

防災訓練に参加しましょう

～災害に備え、防災知識の向上をめざす～

わが国は、毎年のように地震、台風、集中豪雨などの災害に見舞われています。特に6000人を越える犠牲者を出した平成7年1月の「阪神・淡路大震災」の経験と教訓は、忘れられないものとなりました。そのような中で昨年は、北海道有珠山の噴火、伊豆諸島の群発地震、三宅島の噴火、鳥取県西部地震、芸予地震など、大規模な災害が全国各地で発生し、多くの被害が発生し、今なお避難を余儀なくされている人もいるところです。

このように地震など自然災害が多発する環境のなかでは、日頃から、災害に対する正しい心構えを身につけ、いざというときに落ちついて行動できるようにしておき、被害を最小限にすることが非常に重要なことといえます。

その方策の一つとして効果的で重要なものに各地方公共団体、消防署、企業、地域コミュニティ等で行われている防災訓練があります。

地域で行われる防災訓練へは、漫然と参加するのではなく、家族全員で参加して、“いざという時どうするか”という心構えを体験しましょう。

〈防災訓練に参加する場合に心がけておくこと〉

1　非常脱出口の確保など身の安全を守ること
2　非常持ち出し品の準備、避難地までの順路を確認など避難するときのテクニック
3　消火器具の使い方などの習得、冷静に火災を防ぐこと
4　正しい情報の入手方法
5　軽いけがの処置など、協力し合って行う応急救護の方法
6　地域の住民等で協力して行う救出活動の方法
7　避難の前の安全確認
8　家族や近隣の人の安否を確認する方法
9　周囲の危険地域を確認しておく
10　行政や消防署の役割、自分でできることの確認　（消防の動き5号抜粋）

※なお、国や地方公共団体などでは、毎年、9月1日の「防災の日」及び8月30日から9月15日までの「防災週間」を中心に、全国各地で防災訓練が行われますので、積極的に参加しましょう！

入校二ケ月を終えて

秋田市消防本部　高橋　望

梅雨が始まり、夏の気配を感じることで、入校して二ケ月が過ぎたのだということに初めて気付くことができました。思えば、この二ケ月間は瞬く間に過ぎてきた気がします。右も左も分からぬまま消防学校初任教育に入校し、初めは緊張して夜もなかなか眠れぬ日々でした。しかし、時間の経過とともに周囲の環境にも慣れ、同期の仲間、先輩とも打ちとけることができるようになりました。

授業では皆真剣に取り組み、私も様々な知識を吸収するとともに、それを如何にして卒業後の勤務に活かせるか常に模索しています。また、四十キロ今日歩をはじめとした様々な行事を通じて、授業だけでは学ぶことのできない協調性、忍耐力といった面も、私の人間性向上の大きな糧とすることができました。

私にとって、寮生活は初めての経験でしたので、自分のことは全て自分でやるという生活に、最初はとまどいを覚えましたが、今ではそれが当たり前のものとして、「自分はもう高校生ではなく、一人の社会人だ」という自覚をもって生活していています。たまにハメを外すこともありますが、それでも二ケ月間の成長は、非常に大きなものであり、私もまた一人前の消防人に一歩ずつ近付いているのだなと感じさせます。今まで、自分が成長しているという感覚を感じたことはほとんど無いことでしたので、今の自分にはとても誇りを持っています。

あと、四ケ月あります。しかし、四ケ月しかありません。この残された期間に、自分がどれだけのことを考え、吸収できるかは、自分にかかっています。

私は、駆け出しとはいえ、秋田市民の信頼を両肩に担う一人の消防士です。この自覚を忘れることなく、残された四ケ月、自己の向上に努めたいと思います。

地域の防災、災害対策に貢献！
消防　ポンプ自動車　小型ポンプ　ホース
設備　火災報知器　スプリンクラー　消火器
猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番9号　TEL018（863）1551㈹
猿田興業ビル7F　FAX018（824）3651

株式会社タカギ
秋田県横手市寿町1番28号
TEL　(0182)(32)3880
（営業種目）
日本機械自動車ポンプ　トーハツポンプ　各種消防機械器具　消防設備保守点検
キンバイホース　シバウラポンプ　各種消火器

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門
寺田染工場
横手市清川町　☎32－0416

消防秋田

題字　初代会長　松野嘉吉
定価　1部　5円
(購読料は年会費に含む)
発行人　〒010-0001
秋田市中通4丁目3－23
秋田県消防協会
会長　柴田康二郎
電話　018－832－3791
FAX　018－834－2706
印刷　〒010-0951
秋田市山王7丁目5－29
株式会社　松原印刷社
電話　018－862－8760

平成十四年度全国統一防火標語

消す心
置いてください
火のそばに

第五十五回秋田県消防大会 台風により中止

七月十一日(木)鹿角市(鹿角ホテル)で開催予定の第五十五回秋田県消防大会(主催・秋田県消防協会、後援・秋田県、鹿角市、小坂町、財団法人日本消防協会をはじめ、各市町村消防団、そして、ご多忙の中大会にご臨席を予定いただいた千葉秋田県副知事、津谷秋田県議会議長、金田参議院議員を始め多くのご来賓の皆様に改めて衷心よりお詫びとお礼を申し上げます。

大会が中止になったことに伴い、その対応について協議するため、去る七月十八日臨時役員会を開催した。協議の結果、代替大会の開催は行わず当役員会の決議をもって大会決議とすることとなった。

なお、来年の第五十六回大会は、湯沢市で開催することに決定した。

前年度大会における決議事項の処理報告

1. 消防団員の服制について
(鹿角支部提案)

消防団員の服制については、基準改正により全国統一すべきものと、各市町村に裁量が委ねられているものがあり、その更新に当っては消防人としての節度を保ち、改正の趣旨に添った整備が図られるよう各市町村に働きかけてまいりたい。

2. 国庫補助事業の範囲の拡充について
(大館北秋田支部提案)

国では、財政が大変厳しい状況にあり、当面、服制を国庫補助事業の対象に加えることは難しいことから、現在ある「消防団活性化事業」を活用されたいとのことであるが、服制は消防人としての士気にも関わることもあり、拡充強化されるよう引き続き要望してまいりたい。

3. 消防団員の家族に対する功労金の支給について
(能代市山本郡支部提案)

消防団活動は、多くの関係者、とりわけ配偶者や家族の理解と協力なくしては、その任務を達成することは困難であり、そうしたご苦労に対する謝意として優良事業所表彰を行っている。

功労金の支給については、現在の財政事情からみて難しいと思われるが、表彰など何らかの形で感謝の意を表することができないか検討してまいりたい。

4. 公務災害補償の適用範囲の拡大について
(秋田市支部提案)

消防団員は、特別職の地方公務員であり、他の地方公務員の公務災害補償制度との整合性からも、適用範囲を拡大するのは難しいと思われるが、地域における消防団の役割の増大を考慮した公務の範囲について検討してもらうよう関係機関に要望してまいりたい。

5. 消防団活性化対策と若手団員の確保について
(本荘市由利郡支部提案)

本年度からスタートした新学習指導要領により、小学生の社会科の学習内容が更新され、授業の中で消防の業務を深く学ぶことができるようになったことから、市町村教育委員会等を通じ消防団活動や防災について、より多く学習できるよう要望してまいりたい。

また、サラリーマン団員を抱える事業所等への助成金制度は、現在の財政事情から早急な実現は難しいと思われるが、サラリーマン団員の増加による昼間の消防力の低下については、消防団活動の大きな課題であり、当該事業所等から一層の理解と協力をいただくためにも、引き続き国に要望してまいりたい。

6. 秋田県消防協会一般会計における法令負担金の現状維持について
(市町村分担金)
(大曲市仙北郡支部提案)

県消防協会は、消防思想の普及や消防職団員の福利厚生、相互扶助などを主たる目的として活動する公益法人であることから、運営の原資は、主に市町村の法令外負担金によって賄われており、当協会の円滑な事業推進のためにも、その負担について、一層のご理解、ご協力をお願いしてまいりたい。

7. 消防団員等服制の改正に伴う財源について
(横手市平鹿郡支部提案)

新たな服制への移行は、期限を定めているものではないが、改正の趣旨からできるだけ早期に移行することが望ましいと考えている。しかし、国・県の財政事情から補助等の財政支援措置の創設は難しいと思われるので、現在ある「消防団活性化事業」を活用されたいと考えているが、服制部分が少子高齢化の問題を抱えており、多くの消防団では団員のなり手の不足で、消防団運営に支障が出てきているのが現状であります。

本年度提案議題と主旨説明

鹿角市消防団
副団長　黒澤文男

1. 消防団改革へのお願いについて
(鹿角支部提案)

消防団員は、全国でここ数年、毎年五千人規模で減少しております。かつて百万人規模で活動をしておりましたが、現在では、九十五万人を割っております。団員の約七割近くはサラリーマンが占めており、昼間の消防団活動に影響が出ております。また、地方の大

去年、国においては「消防団員の業務には、防災や捜索など警察に近い内容もあり、消防団の根本までさかのぼって制度全体を見直す」ということで検討委員会を設け、これから改革に踏み込む提言をするようであります。いずれ、その結果が示されることでありましょうが、火災、風水害等の災害、特別警戒や捜索など、多くの人手を必要とする業務では、消防団員は消防職員をはるかにしのぐ行動力を持っております。

消防団は、長い歴史と伝統を持ち、地域住民とともに築き上げてきた市民によるボランティア的な組織であり、我々団員は本業を持ちながら、火災をはじめとしたあらゆる災害から街を守るため、地域住民の手となり足となって日夜頑張っております。

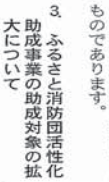
これらはひとえに、我々の支えとなっている「街を守る」という誇り、つまり先人から引き継がれてきた消防精神から生ずる行動であります。

今般、国で進めておられる消防団改革にあたっては、非常に厳しい時代の環境の中にありながら、我々団員の声なり意向を十分反映してのことと存じます。

しかし、肝心の消防機械力更新整備に関する補助予算が縮小傾向にあるなど、改革と称して後退しているのではないかと大変心配しております。

誰もが参加しやすい消防団、誰もが活動しやすい消防団、地域住民に信頼される消防団を目指して我々消防団も一層努力しますが、国等は、改革にあたり、地方での消防災の要である消防団が、地方に偏在する諸問題により弱体化しないようご配意いただきたく、切に関係機関、関係者へお願いします。

2. 消防団員の叙勲制度について
(大館北秋田支部提案)



比内町消防団
団長　小松永悦

我々消防団は複雑多様化するあらゆる災害に対し、自分たちの地域は自分たちで守るという基本理念に基づき、地域住民の安全確保と災害から被害を最小限に軽減すべく、自己の生命の危険をも顧みず献身的に消防活動に従事しているところであります。

近年の社会経済情勢の急激な変化に伴い、自主防災の任を担っている我が消防団の果たす役割は、益々重要になって来ております。

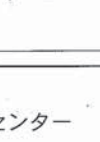
しかしながら、その一方では国の消防団検討委員会の中間報告にもありますように、若年消防団員の減少による団員の高齢化、サラリーマン団員の増加による昼間消防力の低下など、消防団の活性化の推進が今後の重要な課題とされております。

この課題を改善するには、消防団員の処遇改善や装備の充実などに積極的に取り組み、魅力ある消防団組織につくり上げて行くことが肝要であると考えるところであります。

過去においても再三にわたり取り上げられ、消防団の福利の向上のため積極的な努力がなされているところでありますが、我々消防団を取り巻く情勢が変化する中で、叙勲制度について、平成13年4月に該当者の選考基準が一部変更され、功労程度の判断基準として、在職年数が見直しされたところであります。

叙勲制度は消防団員の献身的な活動や消防団員の士気の高揚、団員家族の協力など消防団の活性化に大きく寄与しているところでありますことから、こうした生存者叙勲については現行の基準の維持、また、死亡叙勲運用上の最低基準を生存者叙勲の年数と同等とすることとし、その功労程度を等しく判断いただくよう、国に対し強く要望するものであります。

3. ふるさと消防団活性化助成事業の助成対象の拡大について
(能代市山本郡支部提案)



能代市消防団
副団長　幸坂正

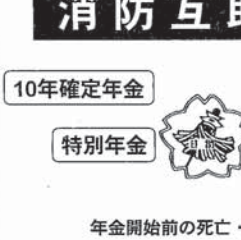
地方自治の振興及び住民福祉を増進する消防団の広報活動、住民への防火指導及び住民や各事業所等の幅広い地域交流活動への消防団参加促進活動のため、財団法人自治総合センターの助成制度により、一件につき百万円の範囲内の簡易的な消防施設・設備等の整備が図られていることは、誠に感謝に堪えないところであります。

全国的に消防団員が減少している中、その対応策に苦慮している現状下において、常日頃から消防団員は火災をはじめとする風水害、地震等の各種災害の防御活動のみならず、高齢者家庭や一人暮らしの老人宅の防火訪問をはじめ、住民への広報巡回、ボランティアとしての身障者関係行事への参加及び協力、冬期間における災害弱者宅への除雪作業など、崇高な数多くの活動をしており、その役割は地域において極めて重要なものとなっております。しかしながら、その活動に應じ必要な車両については、国庫補助事業において五百万円以下は零細事業として車両購入が対象外とされている為、各消防団員の自家用トラック等の提供などに頼っているのが現状であり、この改善が求められています。

このような状況から、地域が安全で安心して暮らせ

詰碁コーナー

問題　黒先（5分で1級）



【ヒント】　(関西棋院囲碁)
一着目は分かるはず。ダイアリーより)

消防団員のための
消防互助年金
10年確定年金
10年保証終身年金
特別年金
年金は毎年3％複利で逓増
年金開始前の死亡・解約に一時金
加入申込みは消防事務担当へ

森田ポンプ　ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管　消防被服一式
各種消火器　消防機器一式
株式会社　協立
株式会社　能代消防センター
能代市柴町12の3 〒016-0846
TEL (0185)(52)6361
(52)6494

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
綜合防災設備センター
株式会社　高義商会
(営業種目)
トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種
〒012-0111 本社 秋田県稲川町 TEL(0183)(42)2125
〒019-0504 十文字町本町 TEL(0182)(42)0032
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

るための消防団の活動は、住民と密接な関係を維持することが重要でありますが、よりその活動を迅速かつ的確に行うために消防団活性化事業の助成対象の拡大を図っていただき、現在対象外とされている消防防災車両等を助成対象メニューに入れていただきたくお願いするものであります。
　助成金額の四百万円以内で購入できる軽積載車は、地域住民への広報巡回及び防火指導、各消防団行事及び地域住民のイベント時の資機材の搬送など、それぞれ多方面で活用できることから、軽車両等を是非とも助成対象としていただきたく要望するものであります。

4. 消防団員の処遇改善と市町村合併について

（男鹿南秋支部提案）

八郎潟町消防団
副団長 相馬勝信

　我々消防団員は、消防組織法の規定や各々の市町村の条例によって設置されている各市町村消防団に属し、火災や災害に際しては家業や職業を顧みず、ひたすら郷土愛に燃え、身命をかけて出場しておりますが、各市町村が条例で決めていることとはいえ、報酬や出場手当がまちまちであるのが現状であります。
　災害などに対処する場合には、どこの消防団に所属していても我々消防団員は最前線で任を全うすべく全力で対処しておりますので、出場手当や一般団員の報酬については均衡ある処遇がなされるべきであると考えます。
　地方分権が推進され、自己責任による地方自治の確立が叫ばれている昨今では、支給基準の全国的統一は非常に困難なこととは思いますが、この件に関しては県から超法規的な指導力を発揮していただき、県内だけでも処遇の均衡と改善を図っていただきたいものと考えます。
　また、我々消防団員が昼夜を分かたず現場に出場できるのは家族の支援があればこそでありますので、永年勤続を表彰していただく際に、内助の功も併せて讃えていただくことはできないものでしょうか。
　次に、市町村合併に伴う消防団の組織改革について要望いたします。現在県内では一市町村あたり一消防団が組織されておりますが、広域的な市町村合併が推進された場合、一自治体に一消防団では統括する地域が広範囲にわたること、現在の各消防団における年齢構成や職階組織の違いなどから指揮命令系統に齟齬をきたす可能性があります。
　消防組織法では設置数を規定しておらず、他県においては複数の消防団を設置している自治体もありますので、市町村合併を推進するためにも、現在の良好な消防団活動を破断することなく、円滑に継承するよう国や県の指導をお願いいたします。

5. 応急手当普及員講習受講のための環境整備について

（秋田市支部提案）

秋田市消防団
副団長 榎 政良

　昭和二十三年の消防組織法制定以来、消防団は郷土愛護の精神を受け継ぎながら地域防災において重要な役割を果たしております。
　秋田市においても、火災はもとより地震、風水害などの災害発生時にはその要員動員力や地域密着性といった特性を生かしながら大きな力を発揮しております。
　ところで、近年は火災などの災害ばかりではなく、交通事故などの各種事故が増加しております。昨年一年間の秋田市における救急出動件数は八、一二〇件で、病院へ搬送された人が七、六六六人おり、まさに四十一・五人に一人が救急車で病院へ搬送されているとのことであります。高齢化社会が進展していく中で、このような救急事業は今後ますます増加していくことが懸念されます。
　事故や急病により命の危機に瀕したとき、その場に居合わせた人による応急手当がその傷病者の命を大きく左右します。そのため、秋田市の常備消防では、平成六年から人口の二割に当たる六万人を目標に各種事業所、町内会、サークル活動団体などに対し救命講習会を開催し、応急手当の重要性を一人でも多くの市民へ理解してもらうよう、そして災害現場で迅速に応急手当を施してもらうよう普及啓発しております。昨年、命の危機に瀕した一八八人の内、救急隊が到着する前に、市民によって約半数の九十人の方が応急手当を施されていたとのことであります。このような応急手当が行われることは、傷病者の救命率の向上、さらには、大規模災害時における住民の自主救護力の向上につながるものであります。我が消防団においても過去にこの講習会を受講し、多くの団員が応急手当に関する知識、技術を身につけているところであります。
　このような社会環境を踏まえ、災害発生時には住民を交えた活動のリーダー的存在である我々消防団は、今後も地域住民の信頼に応えるためにもさらなるコミュニケーションを図っていかなければなりません。そのためには、個々の団員が取得した応急手当を個々の技術にとどめるだけでなく、広く地域住民へ普及していくことが必要となります。地域密着型の我々消防団ならではの効果的な活動ができるのではないでしょうか。
　そこで提案があります。従来一部の消防団で受講した三時間の普通救命講習以外に、広く地域住民へ応急手当を普及する指導者としての資格を得るため、十六時間の応急手当普及員講習を全ての消防団員に受講させる機会を与えたいと考えております。団員の家族はもとより、地域住民へも応急手当の普及啓発を図り、助け合い精神のもと、安全、安心な街づくりに寄与したいと考えております。これこそが消防団の目指す郷土愛護精神であり、ぜひとも全消防団員が受講できるような優遇処置を設けるなどの環境整備を強く要望します。

6. 消防団活動のPRについて

（本荘市由利郡支部提案）

本荘市消防団
副団長 渡部 侃

　我が国の消防団は、郷土愛護の精神を受け継ぎながら、その長い歴史を築いてきております。その過程において「消防団に入団してはじめて一人前と認められる」「消防団に参加することは地域住民としての務めである」といった雰囲気を作り上げてきましたが、近年においては、住民意識の変化、連帯意識の希薄化などにより、その雰囲気が失われつつあります。
　また一方で、消防団の充実強化のためには、消防団の持つ魅力の再評価と新たな魅力づくりが不可欠でありますが、長い歴史と伝統を持つが故に、現在では「煩雑な人間関係」「束縛的」「苦しきつい」といったマイナスイメージが生じてきていることも事実であります。本来、消防団は地域の安全と安心に関するキーパーソン、あるいは常備消防等行政機関とのパイプ役になるという大きな役割を担っておりますが、同時に、地域に密着することでその存在意義が高まるとも言えることから、消防団員においては、地域の住民から頼りにされるような存在であることが必要とされます。
　こうした地域との関わりの中で、地域における様々な行事への参加も大きな意味をもっております。伝統芸能、祭り、スポーツイベントとその形態は様々ですが、このような地域の行事を通じた活動は、地域とのコミュニケーションを活発なものにするとともに消防団内のコミュニケーションをも一層円滑なものとし、ひいては地域住民の消防団への参加欲と団員のより積極的な活動意欲を高めることが期待できます。また、地域との連携を深めていくことは、地域の中に消防団の活動を理解し、かつ常に消防団を評価する人々が存在することにつながり、円滑な消防団活動の推進に大きな効果を生むと考えられております。
　いずれにしても、消防団本来の役割はもちろんのこと、地域における消防団の様々な活動を住民が理解し、更なる魅力向上を図るためには、消防団のPRが極めて重要であると考えられます。企業においては、PRの成功によりイメージが向上し、学生等の就職希望が大幅に増加するなど、消防団の現状に置き換えてもその効果が期待できるはずです。
　消防団のPRについては、消防庁が様々なメディアを利用して全国規模で進められてはおりますが、各都道府県、市町村においても各種広報媒体を活用したPRを一層充実させていくことを強く要望するものであります。こうした取り組みを継続することにより、若い世代における消防団活動への感心が高まるなど、地域における消防団に対する新たな認識が生まれ、ひいては消防団の活性化につながるものと確信するところであります。

7. 女性消防団員の加入促進について

（大曲市仙北郡支部提案）

角館町消防団
団長 渡邊廣作

　テレビ・新聞等で連日報道されるニュースには必ず高齢者あるいは一人暮らし者に関するものがひとつは見られます。これはとりもなおさず、現代の高齢化社会あるいは人口の減少を顕著に現しているものではないでしょうか。新世紀を迎え、この先更にこの傾向は進行するものと思われます。今世紀中には日本人の三人に一人が高齢者であると予想されています。
　また、高速交通体系の発達や日進月歩する情報技術の発達により潜在的な災害の発生率は確実に増大傾向にあります。このような現況のなか防災人員の確保は最も重要な課題のひとつであるといえます。
　しかし、人口及び新規入団者の減少とあいまって消防団員数は確実に減少傾向にあり、更に高齢化による防災活動の低下が危惧されています。現状では発生した災害に対応することには限界があり、従来の消防団の警防活動重視からプラス予防活動の充実を図ることが必要と思われます。
　このことより必要とされる人材を補うには女性団員の増員が望ましいと考えられます。
　女性の社会的地位が確立された現在、予防活動あるいは警防活動の後方支援等女性特有の適応を生かし、消防団の業務を強化すべきではないでしょうか。また女性の参入による団員の士気の向上やイメージアップにも効果が見込まれるはずです。
　秋田県内では女性団員数が少ないことから、その眠れる人材を生かすため積極的に勧誘すべきだと思います。そのためにはまず消防団の地位向上が必要であり、入団したい組織であることが重要だと思われます。具体的にはマスメディアを利用したPR、女性向けの被服・資機材の充実、地域及び団内における女性団員の地位の向上、女性向けの訓練施設の整備と充実等、行政とのさらなる連携が必要ではないでしょうか。特にマスメディアを利用したPR、訓練施設の整備充実は市町村単位で行うには限界があり、また研修などの教育関係はほとんど自己負担に近いかたちであります。家族・地域の理解を得、新入団及び団への定着を目標とし、誇りをもって消防団活動に従事できるためにも是非県単位で施設の整備・充実、研修を含めた教育訓練体制の確立、積極的な勧誘活動に取り組むことを要望するものであります。

8. 教職員に対する消防団活動の理解促進について

（横手市平鹿郡支部提案）

山内村消防団
団長 下夕村 勲

　消防団は、自らの地域は自ら守るという郷土愛護の精神に基づき、通常は各自の職業に従事しながら、いざ災害が発生した際には、いち早く現場に駆けつけ災害防御活動を行っており、消火活動はもちろんのこと、地震や風水害、林野火災等の大規模災害時には、多数の消防団員が出動し、被害の拡大防止に活躍しています。
　一方、災害時の活動以外においても、個別訪問による防火指導や応急手当の普及指導、地域の行事の際の警戒等、地域に密着した活動を行っています。
　しかし、近年の社会経済情勢の変化により、消防団員の減少や団員の高齢化、また、いわゆるサラリーマン団員の増加、それに、消防団に関する住民意識の希薄化など様々な課題を抱えています。
　住民意識の希薄化の問題については、消防庁が実施したアンケートでは「消防団の活動内容を知らない」または「地域の消防団の存在を知らない」との回答が多く、特に若い世代ほど顕著であったといいます。せっかく、日頃から自分の仕事を持ちながらも社会に貢献するために頑張っている消防団員の活動が地域住民に伝わっていない現状であります。
　消防団の活性化のためには地域住民に消防団の活動を知っていただく機会が必要であり、さらに将来の地域の担い手である子ども達が消防団の活動を知ることが必要であります。
　幸い、平成14年度から小中学校では、学習指導要領が新しくなり、「総合的な学習の時間」が始まりました。「総合的な学習の時間」においては、様々な社会人が直接小中学校での授業を行うことも可能となっており、こうした機会を捉えて、消防団員が直接生徒に語りかけることは大きな効果を生むと考えられます。そしてこうしたことを可能にするためにも、教職員に対する消防団活動への理解促進を積極的に図っていくよう強く要望します。

9. 山菜採り遭難者の予防活動等隣接県との連携について

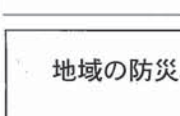
（湯沢市雄勝郡支部提案）

東成瀬村消防団
団長 谷藤傳一

　消防団員は、それぞれの地域において、普段はそれぞれ本来の仕事をしながら、一旦火災等事あるときには、地域のためいち早く現場に駆け付け、初期消火活動や火災後の現場付近の警戒活動、また日頃からの火災予防活動等を行うなど、日夜尽力しておりボランティア活動の最たるものであります。
　当支部の地理的背景においては、東は岩手県、南は宮城県、山形県に隣接しております。
　春秋の山菜採りシーズンになりますと、県内はもとより隣県より多くの方々が訪れています。とくにタケノコ採りの時期六月になると道路のそばの駐車場や空き地にはたくさんの車が駐車している光景があちらこちらに見受けられます。それに伴い遭難者が毎年あとを立たず、その捜索活動には山に詳しい地域の消防団が中心にあたっておりますが、サラリーマン団員が多く、その都度自分の仕事を休んで遭難者の救助に対応しており、雇用情勢が厳しい昨今の状況の中では大変厳しい現状がそこにはあります。
　タケノコ採りの遭難者がもっとも多い、栗駒山の須川温泉付近では、ほとんど他県の方の遭難者で占められ、地元の市町村だけの遭難注意のPRだけでは効果があまりないのが現状です。県あるいは協会あげての隣接県または関係機関への協力要請等をお願いするものであります。

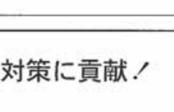
（解答）黒先コウ

【正解図】



黒1が3目のまん中の急所。白2のツギなら以下黒5までコウ。

【参考図】



白2なら黒5まで同じくコウ。このあと白イなら黒ロ・白ハ・黒ロで白死。

地域の防災、災害対策に貢献！

消防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番9号 TEL018（863）1551㈹
猿田興業ビル7F FAX018（824）3651

株式会社タカギ
秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880

（営業種目）
日本機械自動車ポンプ
トーハツポンプ
各種消防機械器具
消防設備保守点検
キンバイホース
シバウラポンプ
各種消火器

消防秋田

題字　初代会長　松野藤吉
定価　1部　5円
(郵送料は年会費に含む)
発行人　〒010-0001
秋田市中通4丁目3－23
秋田県消防協会
会長　柴田康二郎
電話　018－832－3791
FAX　018－834－2706
印刷　〒010-0951
秋田市山王7丁目5－29
株式会社　松原印刷社
電話　018－862－8760

平成十四年度 東北地区消防連絡協議会

七月十八日　秋田市で開催

東北地区消防協会の相互の連絡を密にするとともに、当面する諸問題について協議を行い、消防機関の質的向上と地域消防の活性化に資することを目的に、新潟県を含む東北七県持回りで毎年開催している。本年度は七月十八日（木）秋田市（キャッスルホテル）で開催され、各県の消防協会正副会長他、事務局長、協会職員、本県からは、正副会長、県総合防災課長、県消防長会々長、それに、県協会役員（理事・監事）、協会職員等六十五名が出席し、協議が行われた。

全体会議に先立ち、会長・事務局長会議が開催され、議案一号として日本消防協会役員の推せん方法について、二号議案として第十回全国女性消防団員活性化大会の開催に伴う開催地の推せんについて協議され、一号議案については、昭和四十五年二月二十日開催の「東北地区代議員会議」において決議された「東北ブロック選出日本消防協会役員就任順序表」に従い進めることで合意し決議された。また二号議案については、女性消防団員確保対策委員会において東北ブロックと決議されたのを受け、山形県が開催を引き受けたい旨申し出があり、満場一致で東北ブロック推せんとすることが決議された。

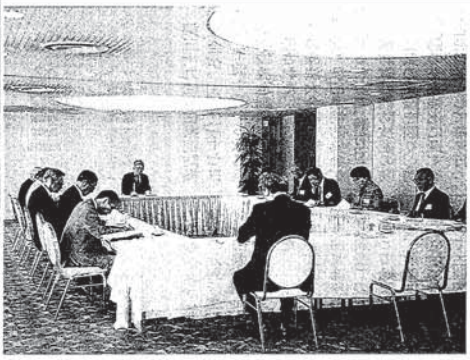
次いで、午後三時三十分から協議会が開催された。

開会の後、殉職消防職・団員の御霊に対し黙とうを捧げ、開催県を代表し柴田会長のあいさつ、続いて来賓として出席した秋田県知事（代理横山総務部長）、佐竹秋田市長から祝辞があった。

会議に入り、議長は幹事県である本県の柴田会長が選出され、議事に入り、前年度決議事項について福島県平田会長からその処理報告があった後、協議に入り、提出議題について、いずれも満場一致で採択され、東北地区消防連絡協議会名をもって関係各機関に対し要望することとなった。また、協議事項については、各県の現状、考え方についてそれぞれの意見発表があった。

次いで、平成十五年度開催県について協議し、青森県に決定された。

この後、研修会にうつり「消防をめぐる諸問題について」と題し、元消防庁長官、現全国町村会事務総長谷合靖夫氏の説得力のある有意義な講演で盛会裡のうちに協議会を終了した。


消防協会長・事務局長会議

平成十四年度全国統一防火標語
消す心　置いてください　火のそばに

協議会スナップ

質疑応答

講演・谷合元消防庁長官

提案説明

各県提出議題

福島県提案

消防団員福祉共済制度における消防協会事業に係る公務災害認定について

（福島県消防協会）
副会長　細谷　康久

消防団員福祉共済制度は平成14年7月1日より制度改正があり、掛金のアップ、入院日数の短縮、弔慰金の見直し等がなされたところであります。

しかし、消防団員福祉共済制度は日本消防協会の自家共済でありながら、消防協会事業の不慮の事故については、消防団員等公務災害補償等共済基金の公務災害の認定が困難な状況にあるため、公務災害とは認められず、弔慰金等の対象外となってしまうため当協会としては対策に苦慮しております。

そこで、消防協会事業に係る不慮の事故等について、消防団員福祉共済制度の中で何らかの方法により公務災害として補償がなされるよう、改正を要望いたします。

◇　◇

消防団員不足の解消のため、退職消防団員の活用について

（協議事項）

（福島県消防協会）
副会長　安倍　義浩

最近は、就労形態がサラリーマン化していることに伴い、団員の昼間不在が多くなりその対策として、退職消防団員の活用を検討している団がある。

しかし、団員の役割分担・補償等様々な問題があり戸惑っている状況である。

そこで、東北各県の消防団での実情についてお聞かせいただきたい。

秋田県提案

市町村合併に伴う消防活動について

（秋田県消防協会）
副会長　奥山　利八

消防団活動は、火災のみならず複雑多様化するあらゆる災害に対応しながら、地域住民の生命・身体及び財産を守ることを使命の第一としております。こうした活動を支えているのは、消防職・団員であり、とりわけ消防団員は、それぞれの職業を持ちながら郷土愛に燃え、身命をかけて活動しております。

消防団員については、消防組織法に基づき市町村条例によって定められることから、団員数はもとより報酬等処遇面において格差が生じているのが現状であります。

地方分権の推進が提唱され、これまで様々な議論がなされてまいりましたが、社会構造の変化や、広域的な行政課題等へ対応するため市町村合併が推進されようとしております。

現在、消防団は原則として1市町村1消防団で組織され処遇改善などの課題はありますが、消防団としては良好な活動が行われております。

こうした現状において、広域的な市町村合併が推進された場合、1自治体1消防団では地域が広範囲にわたることから、指揮命令系統など的確な対応が出来るか、また、団員数や処遇面において現状以上に格差が生じるのではないかと危惧されるところであります。

以上のことから、市町村合併推進にあたっては、消防活動に支障を来すことなく、円滑な活動ができるよう国及び県の強力な指導をお願いするものであります。

消防団活動協力優良事業所・知事表彰

県では、従業員が消防団員として、地域の消防活動に積極的に貢献している事業所を優良事業所として知事表彰するものである。

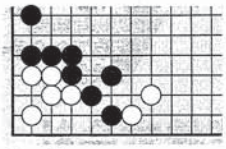
本年度は、市町村から推せんのあったうち特に優れた次の九事業所に表彰状と記念品が贈られることとなった。

表彰式は、例年消防大会で行われているが、本年度は消防大会が中止となったため、それぞれ県地方部長から伝達することとなった。

市町村	事業所名	代表者名
鹿角市	かづの農業協同組合	代表理事組合長　神田　庄司
小坂町	小坂精錬株式会社小坂精錬所	代表取締役社長　原田　恭史
能代市	西村土建株式会社	代表取締役社長　能登　信一
男鹿市	株式会社寒風	代表取締役　菅原　廣悦
秋田市	秋田くみあい運輸株式会社	代表取締役社長　木村　一男
本荘市	株式会社秋田新電元	代表取締役社長　門脇　寛治
太田町	秋田おばこ農業協同組合太田支所	支所長　松田　光男
十文字町	有限会社荒井鉄筋工業	代表取締役　荒井　雄平
雄勝町	雄勝セラミックス株式会社	代表取締役社長　梁瀬　賢悦

詰碁コーナー

問題　黒先（5分で初段）



【ヒント】
手順がポイント。
（関西棋院囲碁ダイアリーより）

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門
寺田染工場
横手市清川町　☎32－0416

森田ポンプ　ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管　消防被服一式
各種消火器　消防機器一式
株式会社　協立
株式会社　能代消防センター
能代市柴町12の3 〒016-0846
TEL　(0185)(52)6361
(52)6494

第三十九回 秋田県消防操法大会

優勝

小型ポンプ操法　山本町消防団第4分団
ポンプ車操法　大潟村消防団第3分団
総合　男鹿南秋支部

第三十九回秋田県消防操法大会が、八月二十七日（火）午前十時から秋田県消防学校放水訓練場において開催された。

この操法大会は、秋田県と（財）秋田県消防協会が主催するもので、消防団員、婦人消防隊の消防技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実強化に資することを目的として毎年行っているものである。

この日は、数日続いた長雨がすっかり上がり、開会式には三十度を越す真夏日となったが、出場選手は暑さをものともせず、日頃の訓練の成果を競い合った。

会場には、団員や家族をはじめ、住民の方々など多くの人達が来場し、盛んに声援を送り、また、出場消防団の多くの町村長さん等が応援に駆け付け盛り上がった。

大会は、各支部から選抜された「小型ポンプ操法十チーム」、「ポンプ車操法七チーム」が出場し、午前九時五十分総指揮者である鹿角市消防団黒澤文男副団長の号令により、十七チームの精鋭が各団旗を先頭に堂々の分列行進を行い、西村秋田県出納長、奥山秋田県消防協会副会長の観覧を受けた。

開会式は、午前十時、鎌田秋田県総務部次長（総合防災課長）の開会のことばによって始まり、国旗掲揚の後、前年度優勝した消防団から優勝旗が返還され、続いて主催である西村秋田県出納長、奥山秋田県消防協会副会長から激励のあいさつがあった。次いで来賓を代表して長谷部秋田県議会副議長からお祝いのあいさつの後、出席された来賓の紹介があった。その後祝電が披露され、大会審査長である高橋秋田県消防学校長から審査要領により厳正にして公正な審査を行うなど競技上の指示があった。次いで出場選手を代表して五城目町消防団第七分団佐々木雄幸班長が、消防精神に則、正々堂々と競技すると力強い宣誓を行い開会式を終了した。

競技は、小型ポンプ操法の部、ポンプ車操法の部の順でそれぞれ抽選順によって競い合った。

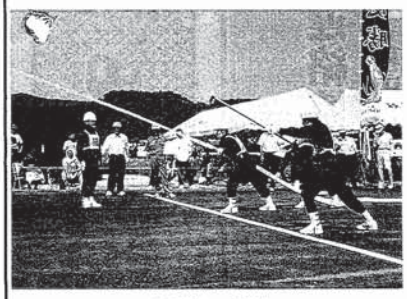
出場チームは何れも各支部代表としてこの日の栄誉を目指して猛特訓を積み重ねてきただけあって、指揮者との熱誠溢れる号令により、俊敏にして的確な消防操法を展開し、日頃鍛えた技術を余すところなく駆使し、各支部の与望を担って熱い戦いを繰り広げた。

また、選手の応援に駆け付けた消防団幹部、同僚、家族の方々はそれぞれテントから熱い声援が送り盛んな拍手や歓声により、選手の労をねぎらうなど会場は終始緊張のなかにも和やかな応援風景の中で競技が進行し昼食をはさんで三時間にわたる操法競技が終了した。

閉会式は、高橋審査長から全般的に均衡した成績と統一された操法が行われ日頃の努力に感謝するとの総評があり、その成績が発表された。引き続き表彰式が行われ「小型ポンプ操法」で優勝した山本町消防団第四分団に消防庁長官優勝旗と秋田県知事優勝旗、「ポンプ車操法の部」で優勝した大潟村消防団第三分団には何れも各支部に日本消防協会長優勝旗が、総合優勝した男鹿南秋支部に日本消防協会長優勝旗がそれぞれ授与されたほか、各部で入賞されたチームには、秋田県知事、秋田県消防協会長賞が授与された後、出場選手を代表し総合優勝に輝いた男鹿南秋支部大潟村消防団村上誠一副団長がこの栄誉におごることなく、今後とも一層精進し、地域住民の安全確保に当たる覚悟を表明し、答辞とした。

最後に、秋田県消防長会佐藤正敏会長の発声による万歳を三唱し、中泉秋田県消防協会副会長の閉会の言葉をもって第三十九回秋田県消防操法大会を終了した。

西村県出納長あいさつ


小型ポンプ操法

ポンプ車操法

ポンプ車操法

操法大会成績

「小型ポンプ操法の部」
一　位　山本町消防団第四分団
二　位　鹿角市消防団尾去沢第一分団
三　位　十文字町消防団第三分団

「ポンプ車操法の部」
一　位　大潟村消防団第三分団
二　位　比内町消防団第一分団
三　位　十文字町消防団第三分団

「総　合」
一　位　男鹿南秋支部
二　位　能代市山本郡支部
三　位　横手市平鹿郡支部

祝　辞

第三十九回秋田県消防操法大会が、本日、ここに盛大に挙行されますことを、心からお祝い申し上げます。

我が国の消防は、昭和二十三年に地域に密着した自治体消防とし発足して以来着実に発展を遂げてまいりました。その間、消防団の皆様方におかれては、火災への対応をはじめとして、災害時の避難誘導や救助活動、さらには地域に密着したきめ細やかな予防啓発活動など、幅広い分野で大いにご活躍いただいております。

近年、災害や事故の態様は、東京都新宿区の歌舞伎町ビル火災に見られるように複雑多様化の傾向を強める一方、本年も林野火災が多発し、化学工場等の火災が発生するなど、全国各地で住民の安全を脅かす災害等が相次いでおります。こうした中で地域のすみずみまで及ぶ情報力、迅速な対応力を持たれる消防団の皆様方に対する期待と信頼はますます高まっております。

消防庁といたしましても、消防団の皆様方が、災害活動はもとより、地域住民の安全確保という崇高な使命を果たすため、平常時の活動に積極的に取り組んでいただいていることに顕彰するため、昨年度から新たに、消防団地域活動表彰を実施するなど消防団の一層の充実強化に取り組んでいるところです。

さて、本日、ご出場の皆様は、それぞれの地区から栄誉ある代表として選ばれた精鋭の方々であります。日頃の厳しい訓練により培われた、高い士気と優れた技術を存分に発揮されるとともに、今後の消防団活動の一層の充実へ、つなげていただきますことを期待いたします。

結びに当たり、お仕事をお持ちのかたわら、地域住民の生命、身体、財産を守るため、日夜献身的なご尽力をいただいております消防団員の皆様、並びにそれを支えてくださるご家族の方々に、深甚なる敬意を表しますとともに、各消防団及び秋田県消防のますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成十四年八月二十七日

消防庁長官　石井隆一

本日の大会を祝し、心よりお喜び申し上げます。皆様方の並々ならぬご尽力に敬意を表し大会のご成功を祈念いたします。

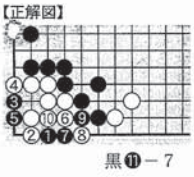
日本消防協会　会長　徳田正明

寄稿のお願い

消防訓練（水防）、防火活動、予防、広報活動等特徴的なもののほか、団員（職）の趣味、その他ご紹介頂ければ幸いであります。

（解答）黒先白死

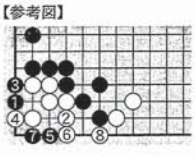
【正解図】



黒1から3の急所に回るのが好手順。

黒⓫－7

【参考図】



黒1からは白2のサガリがうまく、失敗。

地域の防災、災害対策に貢献！

消防　ポンプ自動車　小型ポンプ　ホース

設備　火災報知器　スプリンクラー　消火器

猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番9号　TEL018（863）1551㈹
猿田興業ビル7F　FAX018（824）3651

株式会社タカギ
秋田県横手市寿町1番28号
TEL　(0182)(32)3880
（営業種目）
日本機械自動車ポンプ
トーハツポンプ
各種消防機械器具
消防設備保守点検
キンパイホース
シバウラポンプ
各種消火器

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
綜合防災設備センター
株式会社　高義商会
（営業種目）
トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種
〒012-0111　秋田県稲川町　TEL(0183)(42)2125

消防秋田

題字　初代会長　松野盛吉
定価　1部　5円
（購読料は年会費に含む）
発行人　〒010-0001
秋田市中通4丁目3－23
秋田県消防協会
会長　柴田　康二郎
電話　018－832－3791
FAX　018－834－2706
印刷　〒010-0951
秋田市山王7丁目5－29
株式会社　松原印刷社
電話　018－862－8760

平成十四年度全国統一防火標語
消す心　置いてください　火のそばに

平成十四年 "秋の火災予防運動が" 十一月三日(日)から九日(土)に行われる

目的

この運動は、火災を発生しやすい気候となる時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及を図り、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的とし、特に、平成十三年四月に新たに策定された「住宅防火基本方針」に基づき、高齢者等を中心とする死者の発生を大幅に減少させることを目指すものとする。

あさて、昨年九月に発生した東京都新宿区歌舞伎町ビル火災を踏まえ、小規模雑居ビル等の消防法令違反対象物の危険性について、広く周知、啓発を図るものとする。

推進事項

1. 家庭では、
○ 寝たきりまたは一人暮らしの高齢者、身体不自由者の方々を住宅火災から守りましょう。
○ 「住宅防火診断」を受けて、我が家の安全度をチェックしましょう。
○ 住宅用火災警報器など「住宅防火安心マーク」の表示された住宅用防災機器等を備えましょう。

○ 消化器等の破裂による事故を防止するため、老朽化した消化器等は処分し、住宅に適した消化器等を使用しましょう。
○ 家のまわりには燃えやすいものを置かないようにしましょう。

2. 職場では、
○ 防火基準適合マーク（適マーク）の確認をしましょう。

○ 防火管理者を選任し、消防計画に基づき消火訓練や避難訓練を実施しましょう。
○ 消防用設備等は常に点検整備を行い、いつでも使えるようにしましょう。
○ 夜間における防火管理体制の整備を図りましょう。
○ 工場、倉庫でも火気及び収容物などの管理を徹底しましょう。
○ 工事等における火気管理及び火気取扱いにおける注意を徹底しましょう。

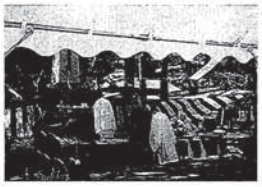
3. 地域では、
○ 防火に関する講習会や映写会を開催し、火災予防の正しい知識を身につけましょう。
○ 幼年、少年消防クラブ、婦人防火クラブを結成し、火災予防意識を育てましょう。
○ 大規模地震の発生による火災等の危険性から地域社会を守るため、自主防災組織を作りましょう。
○ 自主防災組織等により、初期消火、救出訓練、避難、通報連絡、情報伝達等を中心とした各種訓練を実施しましょう。
○ 放火を防ぐため、地域による自主防火の話し合いをしましょう。
○ 寝たきりまたは一人暮らしの高齢者、身体不自由者等の地域ぐるみの避難協力体制を確立しましょう。

秋田県殉職消防団(職)員慰霊祭

九月十日(火)・秋田市千秋公園

平成十四年度秋田県殉職消防団（職）員慰霊祭は、九月十日（火）午前十一時から秋田市千秋公園本丸の慰霊碑前において、秋田県知事（代理）ほか来賓、殉職者御家族及び消防協会役員等約五十名が参加して行われた。

慰霊祭は、神事による修祓、招魂、献饌の儀のあと、宮司により斉主のりとが捧げられ、続いて祭主祭文を柴田消防協会長、慰霊のことばを秋田県知事（代理、鎌田総務部次長）が、それぞれ御霊に奉呈した。次いで日本消防協会長、秋田県市長会会長からの電報が紹介された後、祭主である柴田会長、知事（代理）、遺族代表（鳥海町、三船ヨシ）及び来賓の順に玉串を奉奠し、最後に宮司が撤饌、送魂の儀を行い慰霊の式典を修めた。



この消防招魂碑に合祀されている御霊は、消防団員は三十九柱、消防職員五柱の四十四柱であります。

ご生前のご功績を偲び、永遠のご冥福を心からお祈り申し上げます。

第21回 全国消防殉職者慰霊祭

九月十九日　日本消防会館ニッショーホール

全国消防殉職者慰霊祭が、九月十九日午前十時から日本消防会館ニッショーホールにおいて、全国から参集した御遺族のほか、来賓および消防関係者多数が参列して行われた。

慰霊祭は、御霊の奉納、東京消防庁音楽隊による追悼の曲が吹奏される中で、消防殉職者に対する黙とうが行われ、徳田会長の式辞に続いて、内閣総理大臣（代理）、石井消防庁長官、杉村全国消防長会会長がそれぞれ追悼のことばを述べられた。

この後、徳田会長、来賓および遺族の方々が献花し、在りし日の御霊のご功績を偲び、安らかな御冥福をお祈りした。

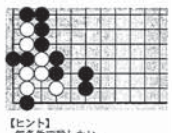
続いて、江戸消防記念有志による鎮魂の歌（木やり）が捧げられた後、徳田会長のあいさつ、遺族代表のお礼のことばがあり、厳粛にして盛大な式典を修了した。

なお、この慰霊祭に参列された本県の御遺族は次のとおりであります。

殉職者氏名	遺族氏名	続柄
門間　多助	門間（かどまい）　淳（じゅん）	孫
富永　新吉	富永（とみなが）　一信（かずのぶ） 富永（とみなが）　貴美子（きみこ） 富永（とみなが）　有人（ありと）	孫 孫の妻 曾孫
大友孫右エ門	大友（おおとも）　チエ	妻
三船　信一	三船（みふね）　ヨシ	妻
佐々木長治衛門	佐々木（ささき）リツ子（りつこ）	妻

詰碁コーナー

問題　黒先（5分で初段）



【ヒント】
無条件で殺したい。

（関西棋院囲碁ダイアリーより）

（解答次ページ）

消防団員のための
消防互助年金
10年確定年金
10年保証終身年金
特別年金
年金は毎年3％複利で運増
年金開始前の死亡・解約に一時金
加入申込みは消防事務担当へ

森田ポンプ　ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管　消防被服一式
各種消火器　消防機器一式
株式会社　協立
株式会社　能代消防センター
能代市榮町12の3 〒016-0846
TEL　(0185)(52)6361
(52)6494

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
綜合防災設備センター
株式会社　高義商会
（営業種目）
トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種
〒012-0111　本社　秋田県稲川町　TEL(0183)(42)2125
〒019-0504　十文字町本町　TEL(0182)(42)0032
〒012-0844　湯沢市田町　TEL(0183)(73)2588

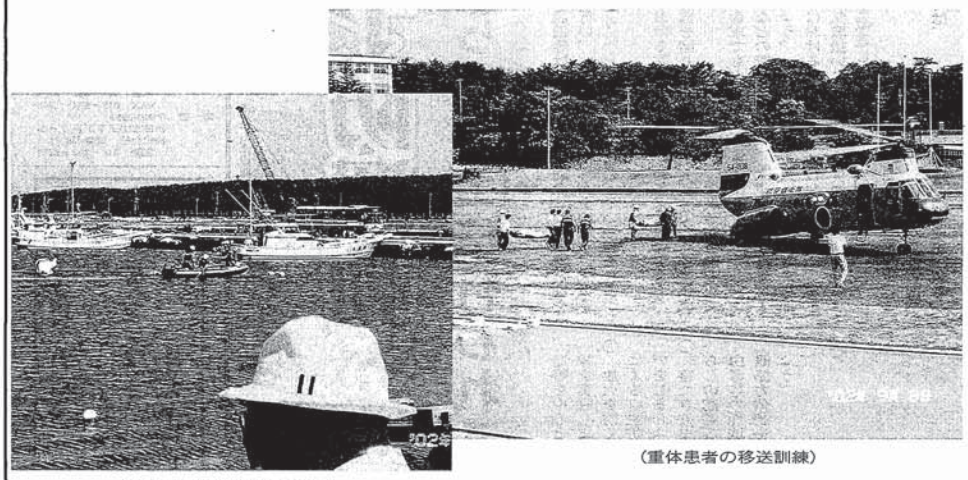
地震と津波想定
秋田県総合防災訓練
能代市で開催

第四十回秋田県総合防災訓練が九月三日能代市で行われた。訓練は、消防、県警、自衛隊など関係機関のほか地域住民ら九十一団体約九、七〇〇人が参加し、本番さながらの緊迫した訓練が行われた。

この日の訓練は、震度6の地震と津波で同市内に大きな被害が発生したとの想定で、市内十一カ所で訓練が行われ、統監の寺田知事、副統監の宮腰市長が査察して回った。

特に、能代港や浅内漁港では、昭和五十八年の日本海中部地震で作業員約四〇〇人が津波に飲み込まれ、三十四人が死亡する被害に見舞われていることもあり、参加者たちは真剣に訓練していた。

（婦人防火クラブによる初期消火訓練）



（重体患者の移送訓練）

（海上による行方不明者の捜索・救助訓練）

韓国の防災事情を視察して

能代市消防団幹部海外研修視察が八月二〇日から二泊三日の日程で昨年に開港した仁川国際空港がある仁川桂陽消防署を訪問、日韓の防災にかかわる実情や課題などについて情報交換を図るとともに、友好を深め合った。

研修視察は、秋田空港の定期便の開設で身近になった韓国の消防事情を把握し、同消防団のレベルアップを目的に計画、同消防団から中田潤団長以下幹部一九名、能代地区消防本部から袴田司消防長ら四名が参加した。

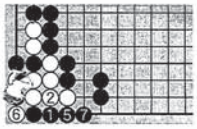
参加者は仁川桂陽消防署で金署長の「消防に国境や人種差別はない。生命はただ一つ。どこで災害があっても駆け付け対応するのが消防の精神。」と歓迎を受け、能代地区消防本部の袴田消防長も「消防に国境はない。管内に抱える人口の大小は別にして抱える問題は万国共通だと思う。交流の中からその問題点などを学びたい。」と述べた。

一行は所内を見学して韓国の防災体制や防災設備などの説明を受けた後、情報交換では、中田団長が仁川広域市の消防団機構について尋ねると、韓国の消防団にあたる義勇消防隊の金隊長が「管内の人口約三四万人を一〇〇人編成のボランティアで活動している。」と答えたのに対し、中田団長は「少数の一〇〇人とは驚いた。韓国人は特に団結力が強いので、量より質でカバーできているのでしょう。」と義勇消防隊を賞賛した。そのほか日本の消防団員の減少、高齢化などの諸問題や両国の火災原因、救急救命の現状などについて話が弾んだ。

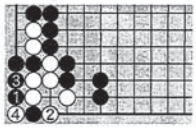
研修視察は、仁川桂陽消防署・義勇消防隊の協力により多大な成果を上げたほか、最後に両国の友好を誓い合い無事修了した。

（解答）黒先白死

【正解図】　黒1のノビが巧手。白2の頑張りには黒3から7まで。



【参考図】
黒1からはコウになる。



地域の防災、災害対策に貢献！

消防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番9号　TEL018（863）1551㈹
猿田興業ビル7F　FAX018（824）3651

株式会社タカギ
秋田県横手市寿町1番28号
TEL　(0182)(32)3880
（営業種目）
日本機械自動車ポンプ
トーハツポンプ
各種消防機械器具
消防設備保守点検
キンバイホース
シバウラポンプ
各種消火器

▲一般のお客様
1人室（洗面所、トイレ付）　¥3,500
2人室（バス、トイレ付）　¥7,000
▲会員の方
1人室（洗面所、トイレ付）　¥3,200
2人室（バス、トイレ付）　¥6,400
ホテル あきた
秋田市中通4丁目3の23
（秋田県消防会館内）電話018(832)4111

消防秋田

扇　宇　初代会長　松　野　柴　吉
定　価　1部　5円
（購読料は年会費に含む）
発行人　〒010-0001
秋田市中通4丁目3－23
秋田県消防協会
会長　柴　田　康二郎
電話　018－832－3791
FAX　018－834－2706
印　刷　〒010-0951
秋田市山王7丁目5－29
株式会社　松原印刷社
電話　018－862－8760

平成十四年度全国統一防火標語

消す心　置いてください　火のそばに

第十八回全国消防操法大会

"大潟村消防団　日本一に輝く"

第十八回全国消防操法大会で、大潟村消防団（第三分団）が、みごと日本一に輝いた。

さる十月二十四日横浜市において開催された同大会には全国四十七都道府県からポンプ車の部に二十四チーム、小型ポンプの部に二十三チームが出場し、放水の速さ、正確さ、士気の高さなどを競い合った。大会当日は朝から雨が降り気温が下がるなど悪条件の中で競技が開始され、午後になり雨はあがったが、依然気温が低く選手にとっては大変厳しいコンディションの中での競技となった。

本県代表の大潟村消防団はポンプ車の部に出場し、黒瀬喜多村長をはじめ家族や指導に当った男鹿地区消防本部、研修に来て友情応援の鹿角市消防団など多数の方々の声援を受け、午前最後の十二番目に出場し、雨が降る悪コンディションにもかかわらず、厳しい訓練で鍛え抜かれた技を十二分に発揮し、タイム第一線四九・二二、第二線五九・四〇秒、総合得点一八〇・五で第一位をキープした。しかし午後からは過去に優勝経験のある数チームがおり、さらに雨があがりややコンディションが良くなったことなどから、柴田県協会長、黒瀬村長、菅生団長をはじめ一同、胃が痛くなる思いで見守っていたが、最終チームが終了し、大型スクリーンに成績が発表され第一位秋田県大潟村消防団と掲示され燦然と輝くその様は、名実とも「日本一」になった瞬間であった。

全国消防操法大会において、今回の大潟村消防団がポンプ車の部で優勝したことにより、平成八年の小型ポンプの部で仙南村消防団が、平成四年の軽可搬ポンプの部で雄和町萱ヶ沢婦人消防隊がそれぞれ優勝しており、三部門すべてを制覇したことは、秋田県消防にとって大きな誇りであると同時に、今後益々その目標に向かって努力されることを期待してやまない。

第18回全国消防操法大会成績順位

ポンプ車の部

			得点	タイム
1位	秋田県	大潟村消防団	180	108.62
2位	福岡県	小郡市消防団	180	112.74
3位	鳥取県	溝口町消防団	179	111.14
4位	石川県	金沢市第三消防団	178	112.20
5位	静岡県	御殿場市消防団	177	113.61

全国制覇を祝して

秋田県消防協会　会長　柴田　康二郎

まずもって、「消防日本一」おめでとうございます。

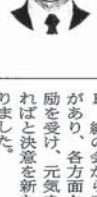
私が消防に身をおいて二十三年こんな喜ばしいことはございません。最終チームの競技が終り、大型スクリーンに「第一位秋田県大潟村消防団」と掲示されたその瞬間万感胸に迫るものがありました。

秋田県消防は永い歴史の中で今年こそはと期待されながら今一歩のところで涙を飲んできましたが、平成四年雄和町萱ヶ沢婦人消防隊が軽可搬ポンプで初めて全国制覇して以来、女性に続けとばかりに各消防団は厳しい訓練を重ねてまいりました。その結果、平成八年に仙南村消防団が小型ポンプで日本一に輝き、あとはポンプ車を制覇することが悲願でありました。特に大潟村消防団は、平成十年のポンプ車において僅差で優勝を逃した苦い経験から血のにじむほど努力されました。県大会での出来栄えから必ずや全国制覇できると信じて見守っておりましたが、はたせるかな期待に応え、晴れて日本一となられました。この偉業を成遂げるには団長を中心に団員一丸となっての成果であることは言うまでもありませんが、村長さんを始め村をあげてのご支援、そしてなによりも影で支えてくれたご家族のおかげであります。皆様に対し心から感謝と敬意を表したいと存じます。

秋田県消防は皆様のおかげで名実ともに操法三冠という快挙を成し遂げました。どうかこれを契機に連覇を目ざして、ご尽力されますようお願いを申し上げ、秋田県消防協会二万一千人の会員を代表し心から感謝とお祝いを申し上げます。

紫紺の大優勝旗を手にして

大潟村消防団　団長　菅生　金作



昭和五十一年、第五回全国大会に出場し、優良賞盾を戴きました。その時に、「紫紺の大優勝旗」を見ました。まさか、その優勝旗を手にすることが出来るとは夢にも思わなかった。心の中でいつかは、と思っていたでしょう。以来二十五年夢の夢であった。その大優勝旗を披露することが出来ます。

全国消防操法大会で秋田県は、平成六年の第十四回大会から連続して、準優勝以上の成績を収めています。特に平成八年の仙南村消防団（小型ポンプの部）の優勝は見事でした。前に婦人消防隊（雄和町）も全国優勝していますので、あとはポンプ車だけ、全国消防操法大会三冠が近いと噂されておりました。

我が団もポンプ車の部で過去二回の準優勝、第十八回全国消防操法大会は優勝の二文字を懸けて望んだ大会でした。

十七回全国大会の研修、全国優勝した青森県南郷村消防団との交流、優勝までのノウハウを勉強する機会を村当局にお願いしたところ、消防団の情熱を高く評価してくれました。団の○B、總の会から応援・指導があり、各方面から叱咤激励を受け、元気を出さなければと決意を新たにしておりました。

選手は三分団の精鋭、自分から全国大会を志願したと言います。みなスポーツマンで、三十歳前後の体力あふれる強者そろいの連中。しかし彼らは仕事を持っている。操法ばかりしていられない。秋の収穫作業は猛烈に忙しい、その中で訓練はどうするか！色々議論する。

「日々の努力」・「優勝するという強い意志」を確認した以上、選手・コーチスタッフは、四十五日間に及ぶ妥協なき訓練計画を受けた。我慢・辛抱・忍耐と限界近くまでの訓練でした。それをサポートしてくれた団員の皆さん、消防本部の指導員、ご家族のご理解と応援には頭が下がります。

毎日がベストの状態ではありませんが、心身共に大変なときでも、休まず訓練を続けた、選手諸君は大きく成長し、自信、風格が現れるようになりました。

総監督以下コーチも選手と同一行動していました。色々なことを想定しながらの訓練、全員が自分の役割果たした結果と信じています。

全国大会に幟が立ち、会場の周りでお国訛りの大きな声で真剣に訓練している。ピリピリした独特の雰囲気。

精神的に非常に疲れる。焦り、不安が交錯する。そうした異常なところで調整は並の人間は出来ない。雑音を気にしない集中力、忍耐力は訓練から培われたと思う。

雨の中の大会で、実力は出したものの得点が伸びない、成績発表するたびに胸中穏やかでなかった。二位との差わずか○・五点、強豪がまだいる。ながい空白が続く、最後の高知県伊野町消防団の成績発表で大きなどよめきと歓喜の声が上がり、握手攻め、三冠達成におもわず柴田会長と抱き合った。

日本一という快挙は、消防団を取り巻くみんなが協力知恵を出した結果と思います。チャンスを与えてくれた村当局、議会、消防協会の皆さんに心から感謝を申し上げます。

大会会場には県内の消防団関係者のお姿も多くみられました。今後の操法大会がまた楽しみです。

選手諸君はこの経験で更に自分自身の人生を高め、活かしてゆくものと信じておれの言葉とします。

四年に一度しかないこの機会に選手に選ばれ、そのチャンスに最高の結果を残せたことで、自分自身大きく成長した気がします。本当にありがとうございました。

選手の皆さん一言

（指揮者）　畑瀬　正道

全国大会で自分達の満足のいく操法が出来、そしてまた優勝することが出来、今までの苦労したことも良い思い出となりました。

この名誉ある栄光のため、今まで色々な立場で御指導、御支援して頂いた皆様に改めて御礼を申し上げたいと思います。

（一番員）　田口　幹雄

全国大会の日、朝からの雨。悪条件にいつも通りにできるか不安を感じながらの操法でしたが、念願の「優勝」をすることができました。これも団長を始め、団員の協力と分署消防関係の皆様のおかげです。心からお礼申し上げます。

（二番員）　高木　茂之

全国大会という最高の舞台で優勝できた事は、名誉であります。四年前の全国大会では準優勝に終わり、自分の操法が出来なかった事にくやしさを憶えていました。

しかし今回優勝できた事で、自信と協力してくれた関係者の皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

三番員　佐藤　友能

これからは二連覇を目指すべく、選手の指導などなんらかの手助けになれば幸いです。

お疲れさまでした。

関係者皆様のおかげで全国大会に出場でき、さらに優勝という貴重な経験をさせていただきました事を心から感謝いたします。

（四番員）　菅野　正史

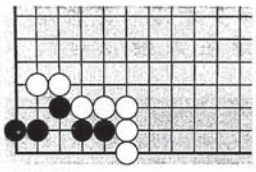
「全国大会優勝」最高の響きでした。これまでの苦しい練習の成果が出ました。これまで応援・お手伝いして頂きました皆様、本当にありがとうございました。

（補助員）　三浦　修

平成六年・平成十年と全国大会での連続準優勝を受け、「今年こそは全国制覇」との意気込みで望んだ今大会。午前中最後の実施順番でこの時点で二位に一点差の一位。午後からの操法が始まり、点数が発表される度にドキドキさせられ、最後の高知県の点数が発表され優勝が決まった瞬間は、うれしいと言うよりもほっとしたというのが正直な気持ちであった。「全国優勝」という名誉を勝ち取ることができたのも、様々な関係機関の方々のご協力の賜であり、そうした方々に心から感謝の意を申し上げます。

詰碁コーナー

問題　黒先（5分で三段）



（解答は次ページ）

【ヒント】
例のマジックを使って…。

（関西棋院囲碁ダイアリーより）

森田ポンプ　ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管　消防被服一式
各種消火器　消防機器一式

株式会社　協立
株式会社　能代消防センター

能代市柴町12の3　〒016-0846
TEL　(0185)(52)6361
(52)6494

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
綜合防災設備センター

株式会社　高義商会

（営業種目）
トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種

〒012-0111　本社　秋田県稲川町　℡(0183)(42)2125
〒019-0504　十文字町本町　℡(0182)(42)0032
〒012-0844　湯沢市田町　℡(0183)(73)2588

平成十四年 秋の叙勲発表

消防功労者 本県は十五名受章

平成十四年秋の叙勲が、文化の日十一月三日に発表された。

晴れの叙勲に輝いた本県消防関係者は、次の十四名の方々であり、十一月六日秋田ビューホテルにおいて、知事から叙勲の伝達が行われた。なお、十一月八日日本消防会館ニッショーホールにおいて、消防庁主催の式典に参列した後、皇居にて天皇陛下に拝謁された。

受章された皆様に心からお祝い申し上げます。

○勲五等双光旭日章
元中仙町消防団
団長　伊藤　耕樹（75）

○勲五等瑞宝章
元十文字町消防団
団長　柿崎　忠夫（71）
元田代町消防団
団長　高坂　儀悦（71）
元昭和町消防団
団長　原　富男（75）
元二ツ井町藤里町消防一部事務組合
消防副管長　工藤　優一（72）
元協和町消防団
団長　関　喜久雄（69）
元田沢湖町消防団
副団長　高田　博（71）
元飯田川町消防団
副団長　門間　貞昭（73）
元井川町消防団
団長　鷲谷　繁（70）

○勲六等単光旭日章
元角館町消防団
副団長　阿部　玲一（71）

○勲六等瑞宝章
元横手市消防団
分団長　石橋　長作（76）
元大森町消防団
分団長　伊藤　喜一（76）
元六郷町消防団
分団長　岡本　孝一（71）
元大曲市消防団
分団長　進藤　興市（77）

平成十四年度 消防職員初任教育終了式

秋田県消防学校

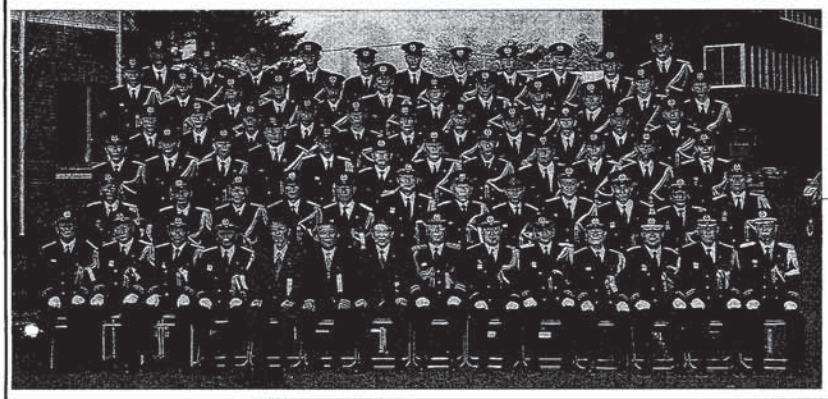
平成十四年度の消防職員初任教育第五十六期生終了式が十月十日秋田県消防学校において来賓、父兄を迎えて行われた。

この初任教育課程は、本県常備消防の将来を担う各消防本部の新規採用職員等を対象に行っているもので、この日修了式を迎えた学生は四十四名で、本年四月十日に入校し、消防に関する基礎知識及び実技等六カ月の厳しい訓練に耐え、自らを錬成し、所定の全課程を履修した。

修了式は、高橋学校長から修了証及び救急手当上級救命講習修了証が、鎌田県総合防災課長から危険物取扱者免状がそれぞれ授与された。

続いて、高橋学校長の式辞、西村県出納長のあいさつ、来賓として柴田県消防協会長、佐藤県消防長会会長の祝辞があった後、修了生を代表し男鹿地区消防本部樋口悟史消防士が「住民の信頼と期待に応えられる消防職員になることを誓います」と力強い答辞を述べて終了した。

本県消防の新しい精鋭として巣立った四十四名の所属、氏名は次のとおりであり、今後の活躍を期待します。



所属本部	氏名
秋田市消防本部	織山昭仁
秋田市消防本部	恩賀将士
秋田市消防本部	吉田清太郎
秋田市消防本部	那須暁彦
秋田市消防本部	徳永根央
秋田市消防本部	猿田瑞生
秋田市消防本部	船木真一郎
秋田市消防本部	渋谷幸太郎
秋田市消防本部	高橋望
鹿角広域行政組合消防本部	苗代沢昌裕
鹿角広域行政組合消防本部	小鴨祐
大館周辺広域市町村圏組合消防本部	山本幸生
大館周辺広域市町村圏組合消防本部	和田純一
鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部	庄司満久
鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部	堀内幸大
鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部	近藤典昭
鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部	長谷川裕也
鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部	金田平
二ツ井藤里地区行政組合消防本部	畠山明
二ツ井藤里地区行政組合消防本部	菊池博
能代地区消防一部事務組合消防本部	幸坂和人
能代地区消防一部事務組合消防本部	金田勇希
山本南部地区消防一部事務組合消防	工藤純一
男鹿地区消防一部事務組合消防本部	樋口悟史
男鹿地区消防一部事務組合消防本部	石川久人
河辺雄和地区消防一部事務組合消防	斉藤龍彦
河辺雄和地区消防一部事務組合消防	石井歩
河辺雄和地区消防一部事務組合消防	熊谷弘毅
河辺雄和地区消防一部事務組合消防	金修介
本荘地区消防事務組合消防本部	小松孝幸
本荘地区消防事務組合消防本部	佐藤未来
矢島地区消防事務組合消防本部	渡辺雅史
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	清水川良弘
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	武田洋
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	田口勝彦
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	齊藤智幸
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	高橋洋平
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部	田中雅人
横手平鹿広域市町村圏組合消防本部	高階学
横手平鹿広域市町村圏組合消防本部	遠藤健太郎
横手平鹿広域市町村圏組合消防本部	堀江和慶
横手平鹿広域市町村圏組合消防本部	北嶋康二
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	加藤聡
湯沢雄勝広域市町村圏組合消防本部	高橋亮太

新団長紹介

山本郡峰浜村消防団
団長　田村　一
（たむら　はじめ）
昭和十二年五月二十七日生まれ六十五歳、昭和三十四年十月七日入団、班長、副分団長、分団長、副団長を経て、平成十四年六月十四日付で団長に就任した。（農業）

山本郡八森町消防団
団長　佐々木宣幸
（ささき　のぶゆき）
昭和六年六月七日生まれ七十一歳、昭和四十年十二月一日入団、班長、副分団長、分団長、副団長を経て、平成十四年八月十九日付で団長に就任した。（小売業）

消防団員指導員研修

平成十四年度「消防団員指導員研修」が十月十六から十八日県消防学校において実施された。

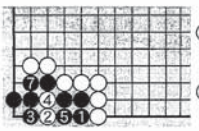
この研修は、地域防災の中核としての役割を果たす消防団員の任務の重要性に鑑み、消防団員の防災技術の向上を図るため、消防団員の教育訓練の指導にあたる者を養成することを目的に、日本消防協会の委託事業として、県消防学校の協力を得て消防協会が行っているものであります。今回は部長、班長、分団長及び副団長の十五名が受講、全員修了し、日本消防協会長の修了証及び指導員章が授与された。

受講者は次のとおりである。

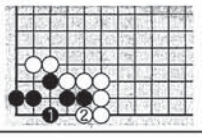
所属	階級	氏名
大館市消防団	部長	石川久晴
能代市消防団	班長	笠井吉則
男鹿市消防団	班長	三浦肇
五城目町消防団	分団長	猿田政博
五城目町消防団	分団長	一関鐐一
八郎潟町消防団	分団長	畠山敏夫
西目町消防団	分団長	工藤敦
仁賀保地区消防団	分団長	佐藤金悦
仁賀保地区消防団	分団長	佐藤義秋
大曲市消防団	班長	山影栄昇
横手市消防団	分団長	小川忠洋
増田町消防団	分団長	平良木保
雄物川町消防団	分団長	伊藤一美
雄物川町消防団	分団長	鈴木慶一
羽後町消防団	副団長	鈴木清綱

（解答）黒先イキ

【正解図】黒1と中を広げ、白2・4には黒9まで。「石の下」のマジックで生き。



【参考図】
黒1は白2で失敗。



地域の防災、災害対策に貢献！
消防 ポンプ自動車 小型ポンプ ホース
設備 火災報知器 スプリンクラー 消火器
猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番9号　TEL018（863）1551㈹
猿田興業ビル7F　FAX018（824）3651

株式会社タカギ
秋田県横手市寿町1番28号
TEL　(0182)(32)3880
（営業種目）
日本機械自動車ポンプ
トーハツポンプ
各種消防機械器具
消防設備保守点検
キンバイホース
シバウラポンプ
各種消火器

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門
寺田染工場
横手市清川町　☎32－0416

消防秋田

題字　初代会長　松野柴吉
定価　1部　5円
(購読料は年会費に含む)
発行人　〒010-0001
秋田市中通4丁目3－23
秋田県消防協会
会長　柴田康二郎
電話　018－832－3791
FAX　018－834－2706
印刷　〒010-0951
秋田市山王7丁目5－29
株式会社　松原印刷社
電話　018－862－8760

平成十四年度全国統一防火標語

消す心
置いてください
火のそばに

平成十四年度

消防活動協力優良事業所として
県内九事業所に知事表彰

県では、地域における消防活動の促進に貢献した事業所を優良事業所として知事表彰を行っている。

この表彰は、自治体消防制度発足五十周年を記念し、平成九年度から実施している。消防団員の活動は、それぞれ本来の仕事をもちながらボランティア精神により支えられているが、特にサラリーマン団員と言われる方々には、勤務している事業所が消防活動に理解と協力が不可欠であります。

このため、消防活動に積極的に協力している事業所を表彰し、他の事業所に対する啓発と消防団活動の活性化を図ろうとするものである。

表彰は、毎年消防大会の席上で行われているが、本年度は消防大会が中止となったため、各事業所へ知事(代理)が出向いて表彰状と記念品を贈った。

表彰された事業所は、各市町村長から推薦のあった次の九事業所であり、その表彰事由を紹介いたします。

◎鹿角市

○かづの農業協同組合

平成九年に発生した澄川・赤川土砂災害対策にあたり八幡平地区消防団員である従業員二十一名に対し、二次災害の恐れがある現場における日夜の警戒活動支援のため、また、多発する遭難事故に対する捜索要請に対し勤務調整等の便宜を図り、率先して災害活動に協力している。

○小坂製錬株式会社小坂製錬所

当事業所は、多数の消防団員を抱え職場全体が消防団に理解が得やすい環境づくりに努め、消防活動や遭難事故の捜索活動に積極的に対応している。特に消防団員を兼ねている従業員の勤務体制について便宜を図り、消防活動に支障を来さないよう配慮している。

また、当事業所は危険物施設等を多数所有していることから防災管理体制等が確立され、各種災害に対する対応は他の事業所の模範となっている。

◎能代市

○西村土建株式会社

消防団員の確保が困難な状況下において、全従業員に対し消防団員の占める割合は10%となっており、これらサラリーマン消防団員が、消防活動に支障を来さないよう職場環境を整えている。

また、過去二度の大火に見舞われ、その教訓から事業主が自ら先頭に立って防災対策に取組み、事業所が一体となり災害・防災意識の高揚に努めている。

◎男鹿市

○株式会社寒風

当社は、昭和二十一年設立以来消防活動に理解を示し積極的に消防団員を雇用している。現在においても消防団員の雇用率は15%強となっており、災害発生時及び警戒時等又は、訓練などに消防団員である職員を積極的に派遣するなど消防活動の充実、団員の資質の向上に貢献している。

◎秋田市

○秋田くみあい運輸株式会社

当社は、消防活動に深い理解を示し、多数の消防団員を雇用し、各種の災害等に協力している。

また、事業所内に自衛消防隊を組織し、自社のみならず、地域防災に多大な貢献をしている。

◎本荘市

○株式会社秋田新電元

当社は、消防活動に深い理解を示し三十三名の消防団員を雇用し、各種の災害等防災活動に積極的に協力し、地域防災に貢献している。

◎太田町

○秋田おばこ農業協同組合太田支所

当支所は、長年にわたり消防活動に理解を示し職員を消防団に入団させるなど積極的に消防活動に協力している。

また、消防団員である職員に対し勤務時における消火活動や訓練等に柔軟に対処するとともに防災訓練に施設を提供するなど地域住民と一体となって防災活動に取組んでいる。

◎十文字町

○有限会社荒井鉄筋工業

事業主自ら長年に亘り消防団員として活躍していたことから消防活動に深い理解がある。

このようなことから、従業員の殆どが現役消防団員及び元消防団幹部で占められており、災害時の際は勤務中であっても積極的に出勤させ、地域防災に多大な貢献をしている。

◎雄勝町

○雄勝セラミックス株式会社

当社の従業員(三五五名)の多くは同町在住者であり、地域と深い関わりをもっているため、消防団員である従業員は勿論、他の従業員も地域防災に理解があり、災害時をはじめ防災活動には積極的に参加するなど他の模範となっている。

六年間を振り返って

消防学校初任教育第五十六期生
秋田市消防本部
消防士　那須暁彦

今、振り返ってみると、消防学校での六ヶ月間は中身の詰まったカリキュラムであったために、短かったように思える。

他の消防本部から集まった学生と初めて顔を合わせた四月八日、それぞれ年の違う学生達が仲良くやっていけるのかという不安がありました。しかし蓋を開けてみればそんな不安は消え去っていました。

六月に行われた寒風山からの強歩大会では仲間同士助け合い、効果測定や体力テストではライバル意識丸出しで切磋琢磨し、管そうリレーや二重巻きホースリレーでは各小隊ごとの結束力が生まれました。

最初の頃は「やっと一日が終わったぁ。」と考えていたのが今では「もう一日が終わってしまった。あと何日しかないのか。」とまで考えるようになってきました。

最後の一大イベントだった学校長査閲は、学生が一丸となって協力し、放課後もどのようにすれば素晴らしいものに仕上げることができるのかと話し合い、そして練習し、見事に成功を収めることが出来ました。

消防という厳しい社会に入って間も無い私達が、これから四十年以上消防人として生きていくための基礎となる部分を得ることができました。公務員としての自覚を持つこと、現場活動での基本と安全管理、その他消防の知識、規律正しい生活、チームワークの大切さ、訓練で鍛えた体力と精神力、そして何よりも大事な仲間。

これからは皆がそれぞれの消防本部に戻り救助、救急、予防等別々の分野で頑張っていくことになるわけですが、消防法の第一条にある「～国民の生命、身体及び財産を災害から保護する～」という消防の任務は変わりません。どこにいても消防人であるということに誇りを持ち続け、一生同期の仲間達と頑張っていきます。

平成15年度消防補助金予算概算要求額

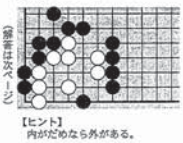
(単位：百万円、%)

事項	14年度予算額(A)	15年度予算概算要求額(B)	比較増減(C)=(B)-(A)	前年度比(C)/(A)	備考
1 消防防災施設等総合整備費補助金	6,926	7,267	341	4.9	
(1) 消防防災施設総合整備費	4,372	4,683	311	7.1	・消防団拠点施設等整備　811<811> ・耐震性貯水槽　3,081<2,864> ・緊急消防援助隊関係施設　490<322>等 ・防火水槽　832<903>等 ・高機能消防指令センター整備　1,488<1,184>等
(2) 市町村消防施設総合整備費	992	1,014	22	2.2	
(3) 消防防災IT化施設緊急整備費	1,562	1,570	8	0.5	
2 消防防災設備等総合整備費補助金	11,164	12,632	1,468	13.1	
(1) 消防防災設備総合整備費	5,534	6,122	588	10.6	・消防団活性化総合整備　822<643> ・緊急消防援助隊関係施設　4,416<3,316> ・自主防災組織活性化事業　200<46>等 ・防火ポンプ車・緊急自動車等　4,564<4,558>等 ・高機能情報通信対応防災無線　1,835<875>等
(2) 市町村消防設備総合整備費	4,558	4,572	14	0.3	
(3) 消防防災IT化設備緊急整備費	1,072	1,938	866	80.8	
合計	18,090	19,899	1,809	10	

(注) 1.「14年度予算額(A)」欄は、補助メニューの改正による調整後の数値。
2.「備考」欄の数値は、当該補助対象に係る要求額、<　>内数値は14年度予算額。

詰碁コーナー

問題　黒先(5分で二段)



(答案は次ページ)

【ヒント】
内がだめなら外がある。
(関西棋院囲碁ダイアリーより)

消防団員のための
消防互助年金
10年確定年金
10年保証終身年金
特別年金
年金は毎年3%複利で逓増
年金開始前の死亡・解約に一時金
加入申込みは消防事務担当へ

森田ポンプ　ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管　消防被服一式
各種消火器　消防機器一式
株式会社 協立
株式会社 能代消防センター
能代市柴町12の3 〒016-0846
TEL (0185)(52)6361
(52)6494

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
綜合防災設備センター
株式会社 高義商会
(営業種目)
トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種
〒012-0111 本社 秋田県稲川町 TEL(0183)(42)2125
〒019-0504 十文字町本町 TEL(0182)(42)0032
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

県内各地で様々な火災予防行事が行われた

秋の火災予防運動が十一月三日から九日までの一週間にわたり行われ、県消防協会支部や消防本部などが主催し、県内各地で様々なイベントが行われた。

能代・山本支部では、管内十三中学校から選ばれた十四人が、身内や隣近所の火災、学校での避難訓練、火の大切さやその怖さなど防火への普及の心構えなどを呼び掛けた。平成十四年度能代市山本郡中学校防火弁論大会が行われた。

弁士及び演題

1. 正しく活用　火の力
　能代東中学校　3年　小林　葉美子
2. 防火のためにできること
　能代第一中学校　2年　山谷　亮太
3. 火事を防ぐために
　八森中学校　2年　山崎　昂磨
4. 守るべきもの
　二ツ井中学校　3年　池端　つむぎ
5. 火事は私のとなりに
　東雲中学校　2年　鎌田　徳香
6. 火事のきずあと
　東雲中学校　3年　佐藤　亜耶香
7. 防火の第一歩
　藤里中学校　2年　安保　憂波
8. 小さな油断が招いた大きな不安
　琴丘中学校　2年　竹内　聖子
9. 大切にしよう　ひとりひとりの心がけ
　常盤中学校　2年　佐々木　真実
10. 報道番組から学んだ命の尊さ
　能代第二中学校　2年　中田　奏
11. 必要な火、けれど…
　峰浜中学校　2年　斉藤　裕弘
12. 思いがけない心の傷を
　山本中学校　3年　北林　千尋
13. もしも、今、このとき…
　八竜中学校　3年　相沢　咲希子
14. 小さな炎を大切に
　能代南中学校　1年　橋本　愛

県庁だより

冬の火災予防について

秋田県
総合防災課

皆さん、こんにちは。

朝晩めっきり冷え込んで、一日中ストーブなどの暖房器具をつけなければならない季節となりました。

今日は、「冬の火災予防」についてお話しします。

冬に起こる住宅火災の大きな原因のひとつとして、石油ストーブに代表される暖房器具による火災があります。

火災の発生状況を見ますと、暖房器具を正しく使っていなかったことが原因で、ストーブが異常燃焼したり、布団へ火が燃え移ったりしたことによるなど、ちょっと注意すれば防げるものが数多くあります。

このような暖房器具が原因となる火災を防ぐために、次の点について特に注意しましょう。

まず、ストーブに給油をする時の注意として、**一つは火を必ず消すことです。二つ目は油が灯油であることを確認してから給油することです。三つ目は、給油を終えたらカートリッジタンクのキャップを必ずきっちり閉めてください。**

次に、使用中の注意としては、ストーブの上に洗濯物を干したり、燃えやすい物を近づけないようにすることです。

そして、ストーブを消火する際の注意として、火が完全に消えたことを確認することです。また、火をつけたままその場を離れないことが大事です。そして、夜の寝る時も同じです。これらのことに十分気をつけるようにしましょう。

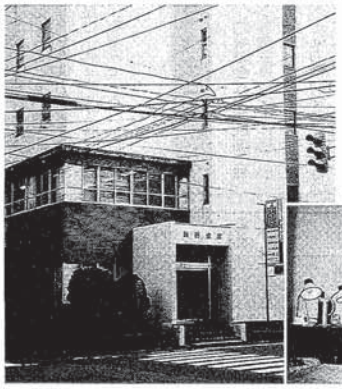
しかし、万が一火災が起きてしまう場合があります。その時のために住宅用火災警報器を備えたり、防災加工の布団などを使用することをお勧めします。火災警報器があれば、熟睡していても、逃げ遅れる危険性はぐっと低くなりますし、最近では、乾電池式の簡易なものも出ています。また、布団に防災加工がされてあったため、火の回りが遅く、大事に至らなかったと思われる例もあります。

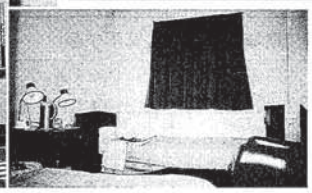
また、雪の多い秋田県では、冬囲いや雪の壁により避難口が少なくなり、命にかかわるような危険性が非常に高くなります。

万が一に備えて、避難口は二つ以上確保するようにしてください。また、いったん非難したら家財道具などを持ち出すために引き返すようなことは絶対しないようにしましょう。

平成十四年度の防火標語は「消す心　置いてください　火のそばに」です。

家族で、地域でお互いに話し合って、よりいっそう効果的な防火対策が取れるようお願いいたします。



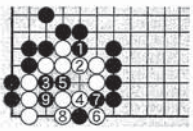


!!ご存知ですか ホテルあきた!!

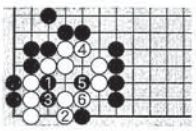
（財）秋田県消防協会では、県民と消防の相互融和と協力関係を結ぶ場として「消防会館」を設立し、主に消防団員（職）の皆様の福利厚生施設として、また一般の方々にも気軽にビジネスホテルとして、宿泊・各種会議・研修室として低料金でご利用いただいております。是非ご利用下さい。お待ちいたしております。

解答　黒先白死

【正解図】黒1と外から攻め、3と切りを入れるのが好手順。



【参考図】黒1からは白2がうまく、殺せない。



◎会議室

■日本間　（20名様まで）
■会議室　（40名様まで）
各種会議、セミナー、カルチャースクール、催し物宴会等多目的にご利用いただけます。

使用料金　（消費税込み）

	日本間	会議室
9時～22時	6,200	13,300
9時～17時	5,700	11,300
9時～12時	4,600	6,700
13時～17時 17時～22時	5,200	8,200

◎宿　泊

■シングルルーム（洗面所、トイレ付き）　15室
■ツインルーム（洗面所、バス・トイレ付き）　15室
全室にテレビ、直通電話、オートドアロックドア、冷暖房が完備されています。
★チェックインタイム　午後2時
★チェックアウトタイム　午前10時
■共同浴室（4F）24時間いつでもご利用いただけます。（弱アリカリ・ミネラル温泉）

宿泊料金　（消費税込み）

	会員	一般
シングルルーム	3,200	3,500
ツインルーム	6,400	7,000
ツインシングルユース	4,200	4,500

地域の防災、災害対策に貢献！

消防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番9号　TEL018（863）1551㈹
猿田興業ビル7F　FAX018（824）3651

株式会社タカギ
秋田県横手市寿町1番28号
TEL　(0182)(32)3880
（営業種目）
日本機械自動車ポンプ
トーハツポンプ
各種消防機械器具
消防設備保守点検
キンバイホース
シバウラポンプ
各種消火器

秋田県消防会館
ホテルあきた
〒010-0001 秋田市中通4-3-23
TEL 018-832-4111～4
FAX 018-834-2706

消防秋田

題字　初代会長　松野益吉
定価　1部　5円
（購読料は年会費に含む）
発行人　〒010-0001
秋田市中通4丁目3−23
秋田県消防協会
会長　柴田康二郎
電話　018−832−3791
FAX　018−834−2706
印刷　〒010-0951
秋田市山王7丁目5−29
株式会社　松原印刷社
電話　018−862−8760

秋田市／出初式

新年のご挨拶

秋田県消防協会
会長　柴田康二郎

明けましておめでとうございます。

平成十五年の新春を迎えるにあたり、全県消防関係者の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年は、自治体消防が発足して五十五周年の記念すべき年であります。この間、関係各位のたゆまぬ御努力によって幾多の災害を乗り越えてまいりました。ひとえに、郷土愛護の崇高な精神を先人から引継ぎ防災の第一線に立ち、身を挺して地域住民の安全確保のため日夜献身的にご活躍されている消防団員、消防職員の皆様のお陰と存じ心から感謝と敬意を表する次第であります。

また、当協会の運営にあたり平素より多大なご支援ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと火災をはじめ風水害等自然災害は依然として後を絶たず、国民生活に大きな不安を与えております。特に例年秋口に発生する台風が七月にはすでに七号に達するなど異常な年であり、しかも雨台風とも言われ各地に大きな被害をもたらしました。

本県においても、雨により農作物等に大きな影響を及ぼし、特に、台風六号は、消防大会開催当日本県を直撃する恐れがあり、昭和二十三年以来開催してきた伝統ある大会を中止せざるをえない状況となりました。幸い、大きな被害がなかったことは不幸中の幸いでありました。

しかし、火災の発生状況をみますと、発生件数では前年の六百十二件に対し四百六十二件で百五十件下回ったものの死焼者数は逆に三十六人で前年の二十五人を十一人上回り、我々消防人にとっては、何かやるせない思いであり、暗い一面もありました。

そんな中で、十月二十四日、横浜市で行われた第十八回全国消防操法大会ポンプ車の部において、本県代表として出場した大潟村消防団がみごと日本一に輝きました。この快挙は、一人大潟村消防団の名を全国に轟かせたばかりでなく、秋田県消防にとっても大きな誇りであり、そのご功績とご活躍に心からお祝い申し上げます。

一方、社会経済情勢をみますと一向に明るい兆しが見えない日本経済の中にあって、火災をはじめとする各種災害は年々複雑多様化し、そしてまた大規模化の傾向を一層強めており、消防の果たす役割は益々増大しております。こうした現状を踏まえ、われわれ消防人は常に知識の向上に励み、体力・気力の増強と技能の錬磨に努め、近代消防として如何なる災害にも対応できる体制を確立しておかなければなりません。

地域住民に信頼され頼りがいのある消防団としてより発展するために、これまでの良き伝統を生かし、地域に密着した消防機関として、安全確保のため一層のご協力とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年の始めにあたり、災害のない平穏な年でありますよう、また、全県消防関係者の皆様には、ご家族ともども健やかな年でありますことをお祈り申し上げご挨拶といたします。

新年を迎えて

秋田県知事　寺田典城

新年あけましておめでとうございます。

県民の皆様には、希望あふれるすがすがしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、消防団員や消防職員の皆様には、災害から県民の身体、生命及び財産を守るため、日夜、献身的に尽力しておられることに、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

昨年は、日韓共催サッカーワールドカップでの日本と韓国の活躍や、小柴昌俊氏と田中耕一氏がダブルノーベル賞を受賞するといった国内をわかせる明るい話題もありましたが、経済・雇用情勢を見ると長期の低迷が続き、社会全体に閉塞感がつきまとった一年であったように思います。

一方、本県においては、厳しい財政事情の中、国の動向に追随するだけといった受身の姿勢と決別し、地方が自ら知恵を絞り汗を流して主体的に行動することを旨とした「更なる挑戦と改革」と「日本一役に立つ県庁」を徹底させ、様々な施策を積極的に推進してまいりました。

具体的には、成果重視の行政を推進し県民への説明責任を果たすための「政策評価条例」の制定を始め、市町村の自主的な合併に向けた取組への支援、複数の自治体が韓国に出す合同事務所としては初となる「北東北三県・北海道合同ソウル事務所」の開設、ボランティア・NPO活動や余暇・文化活動の拠点施設となる「遊学舎」のオープンなど、各分野において着実に成果を上げています。

こうした中で、「あきた21総合計画」の「第二期実施計画」がスタートする平成十五年度においては、緊急の課題として、県民生活の安定に資する「経済・雇用対策」に取り組むほか、暮らし優先の社会を目指すことが経済活動を活発化させるとの認識の下、秋田の新たな可能性を生み出す「男女共同参画社会の形成」に向けた取組を推進するとともに、元気な秋田づくりの礎となる新たな視点からの「新社会資本の整備」に重点的・先行的に取り組んでいきたいと考えています。

このための県政の運営に当たっては、真のパートナーシップと現場主義を更に徹底し、時代の変化や社会経済情勢の動向、県民ニーズ等に的確かつスピーディーに対処していくとともに、旧来型システムの「破壊」と新たなシステムの「創造」にも果敢にチャレンジしてまいりたいと思いますので、より一層の御理解と御支援をお願い申し上げます。

終わりになりましたが、皆様の御多幸とますますの御活躍を祈念申し上げまして、新年のあいさつといたします。

迎春

秋田県

知事	寺田　典城
副知事	千葉　哲隆
出納長	西村　忠男
総務部長	横山　浩弘
同次長	鎌田　浩治

総合防災課

次長(兼)課長	鎌田　浩治
主幹(兼)班長	小林　治男
同	櫻井　博範
同	大山　毅
副主幹(兼)班長	関口　彦夫

消防学校

校長	高橋　光男
副校長	江川　善則
同	橋本　鎮雄
主査(兼)班長	伊藤　睦男
主任専門員(兼)班長	佐々木　敏
主査	三浦　肇
同	佐藤　勤
同	安田　聡

消防協会

会長	柴田　康二郎
副会長	奥山　利八
同	中泉　松之助
同	中田　潤
理事	鎌田　浩治
同	菅原　徳弥
同	佐藤　忠行
同	菅生　金作
同	五十嵐　康
同	永井　久雄
同	齋藤　博臣
同	高橋　芳郎
同	鈴木　正雄
同	佐藤　正敏
同	里見　喜代治
同	袴田　司
同	古仲　東一
監事	草彅　忠誠
同	本田　隆爾
同	鳥海　雄一

事務局

局長	大信田　康雄
主事	佐藤　孝子
同	石山　和美

年頭の辞

消防庁長官　石井隆一

平成十五年の新春を迎えるに当たり、全国の消防関係者の皆様に謹んで年頭の御挨拶を申上げますとともに、日頃の御尽力に対して心から敬意を表し、深く感謝申上げます。

さて、我が国の消防は、自治体消防として発足以来、本年で五十五周年を迎えます。この間、関係各位のたゆまぬ御努力の積重ねにより、制度、施策、施設等の各般にわたり着実な発展を遂げ、国民の安全確保に大きな役割を果たして参りました。

特に昨年は、新宿区歌舞伎町・雑居ビル火災を踏まえた違反是正・防火管理の徹底等を内容とする消防法令の大幅改正等を行うなど、小規模雑居ビル等の防火安全対策の充実・強化に取り組んでまいりました。

一方、昨年も台風に伴う風水害や大規模な林野火災等の災害が発生するなど、国民の安全を脅かす災害等が相次いで発生しております。また、何時発生してもおかしくないとされている東海地震について、昨年四月、地震防災対策強化地域の大幅な拡大が行われました。さらに、東南海・南海地震、南関東直下型地震等の発生が懸念されており、大規模災害時の防災・危機管理体制の充実・強化が喫緊の課題となっております。

他方、高齢化社会の進展等に対処し重症の搬送患者の救命率を一層高めるため、救急救命士の処置範囲の拡大等を本年四月から順次実現する運びとなっています。

このような状況の下、災害等から国民の生命、身体及び財産を守るという消防の責務は、ますます大きなものとなってきており、地域住民や企業など幅広い地域社会との連携のもと、総合的な消防防災体制の整備を図っていくことが重要であります。

消防庁といたしましては、今後とも、火災予防対策等の一層の推進、救急救命等の充実・高度化、大規模災害・特殊災害等への緊急対応体制の整備、防災・危機管理に関わる組織や人材の充実とIT等の情報通信基盤整備の推進等、各般の施策に積極的に取り組んで参りたいと考えております。

皆様におかれましても、我が国の消防の更なる発展と、国民が安心して暮らせる安全な地域づくりのために、より一層御尽力いただきますようお願い申し上げます。

皆様方の益々の御健勝と御発展を祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

新春のご挨拶

財団法人　日本消防協会
会長　徳田正明

輝かしい平成十五年の新春を迎え、全国消防関係者の皆様に、謹んでご挨拶申し上げます。

消防団員・職員の皆様が、日夜防災の最前線に立ち、火災をはじめあらゆる災害から国民の生命・身体、財産を守るため、献身的にご活躍されておられますことに対し、深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

今日の消防は、昭和二十三年に自治体消防制度が発足以来五十五年を経て、関係者のたゆまぬ御努力により幾多の大災害を乗り越え、近代消防として着実な発展を遂げ、国民の厚い信頼を得ているところであります。

しかしながら、昨年も風水害等の災害は後を絶たず、近年は社会経済情勢の急激な進展に伴い、災害は大規模化、複雑化の傾向を示し、国民生活に大きな不安を与えております。

これらの災害に対処し、被害を最小限にとどめるためには、消防機関と地域住民が一帯となった防災体制の強化・拡充、広域的で迅速な応援体制の確立、並びに住民の幅広いニーズに対応できる消防体制の一層の強化が必要であります。

このような中、今日の消防団を取り巻く環境も年々厳しさを増し、就業構造の変化、小規模市町村の過疎化による消防力の確保等様々な課題を抱えておりますが、阪神淡路大震災で再認識された、大規模災害時における消防団の地域密着性や要員動員力といった特性を生かした活動に対し、国民の消防団へ寄せる期待はますます高まっています。

当協会といたしましては、こうした現状を踏まえ、全国百万人を超える消防団員・職員の益々の士気高揚と活性化に向けて、本年も消防資機材の整備充実、優良消防団員・職員の表彰、教育訓練などを積極的に推進するとともに、女性消防団の活性化、消防団員・職員に対する福祉共済事業、互助年金事業等の充実を図り、消防活動のより良い環境づくりに努めてまいりたいと考えております。

また本年、自治体消防五十五周年という記念すべき年を迎えるにあたり、国民の消防に寄せる期待に応え得るよう、使命の重要性を改めて認識し、郷土愛護の崇高な消防精神のもと、更に安全な地域づくりに向けて精進することを誓いたいと思います。

どうか、全国の消防関係者の皆様におかれましても、これからの新しい時代に向けて、平穏で安全な住み良いまちづくりのため、より一層のご尽力をいただきますようお願い申し上げますとともに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新春のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

消防大学校長　今井康容

平成十五年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

あわせて、消防関係者の皆様の日頃のご活躍に対し、心から敬意を表します。

消防大学校は、昭和二十三年に創設され、本年で四十四年を迎えます。これまでに三万七千人余の方が消防大学校を卒業され各消防機関においてご活躍されているなど、関係各位のたゆまぬご支援ご協力のもと、全国の消防の幹部職員の教育訓練機関として、施設、設備の整備充実をはじめ、教育内容等の充実などなど、着実な発展を遂げてまいりました。

消防大学校では現在、年間約千三百名の入校生を受け入れ、高度の知識及び技術の総合的かつ専門的な訓練等を実施しております。

近年、阪神・淡路大震災等の大規模災害に加えて米国の同時多発テロ事件、新宿歌舞伎町の雑居ビル火災など災害の態様が複雑化し、その規模・被害も拡大しているほか、東海、東南海及び南海地震等の恐れが指摘されるなど、消防の役割もますます重要となってきております。これを受けて来年度から、大規模災害発生時に指揮を執る立場にある地方公共団体の長の皆様を対象として、図上訓練など実践的な訓練を取り入れた「危機管理セミナー」及び昨年四月の消防法の一部改正により強化された建物への立ち入り検査、違反是正の法的措置を適正に行うための「違反是正講習会」を新たに開催することとしました。

また、e－ラーニングによる体系的な教育・研修体制を構築するため鋭意検討中であります。

消防大学校といたしましては、今後とも消防関係者等の皆様方のご要望を教育訓練に生かしてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、今後とも消防大学校に対し、変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、皆様方の一層のご活躍とご多幸を祈念いたしまして、年頭の挨拶といたします。

新年のご挨拶

秋田県警察本部
本部長　坂口正芳

平成十五年の年頭に当たり、消防関係者の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、火災の予防・消火活動や急病・災害時における救急・救命活動等の県民の安全と安心を守る活動に日夜、献身的に取り組んでおられることに対し、心から敬意を表するとともに、平素から警察活動にご理解とご協力を賜っておりますおとに、厚くお礼を申し上げます。

我が国は地震・津波や火山噴火、台風などが発生しやすい地理的条件をかかえ、発生する災害も大雨による洪水や地滑り・崖崩れの土砂災害等、種類も様々で、一度発生すると大規模な災害に発展する危険性を常にはらんでおります。

昨年は、七月から八月にかけて台風による大雨の影響で、岩手県や岐阜県など全国で大きな被害が発生しました。

本県においても、七月から八月にかけて東北北部に停滞した梅雨前線による集中豪雨で中小河川が氾濫し、釣り人が遭難するなどの人的被害や、秋田市の中央部では住民の一時避難や大規模な住宅浸水被害、中央から県南内陸部にかけての農林、公共土木施設への甚大な被害が発生しました。

一方、六月に秋田市の石油コンビナート防災地域で発生した発煙硫酸漏出事故は、突発重大事案に対して消防と警察の連携がいかに重要であるかを再認識させるものでありました。

最近の少子高齢化や過疎化の進展、都市化による建築物の高層化等により、災害から県民の生命、身体、財産を守るという消防の責務はますます高まり、県民の期待も大きいものがあります。

警察の使命も原点は同じく、県民共通の願いであります安全で住みよい地域社会を実現するためには、消防、警察を中心とした防災関係機関が緊密に連携して諸対策を行うことが最も重要であると考えております。

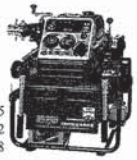
昭和五十八年の日本海中部地震発生から本年は二十年の節目を迎えます。本県は津波による被害が特に大きく、一部の海岸では地震発生後七分で津波が到達し、避難する時間的余裕がなく、七十九名の犠牲者を出すことになったことは防災上の教訓として風化させてはならず、様々な対策の充実強化が図られるべきであります。

近年、震災対策のうえで秋田沖の空白域の存在が指摘されている現状を踏まえ、県内各消防機関が都道府県の枠を越えて活動できる広域応援体制の整備充実を図っていることに対して、改めて敬意を表するものであります。

県警察といたしましても「時代の要請にこたえる力強い警察、安全で安心な秋田をめざして」を基本方針に、突発重大事案や大規模災害の対策強化と災害や事故現場での緊密な連携を図っていく所存でありますので、一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

終わりになりましたが、消防関係者皆様のご健勝と消防行政のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

森田ポンプ　ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管　消防被服一式
各種消火器　消防機器一式
株式会社 協立
株式会社 能代消防センター
能代市栄町12の3 〒016-0846
TEL (0185)(52)6361
(52)6494

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ　綜合防災設備センター
消防被服全般
秋田県代理店
株式会社 高義商会
(営業種目)
トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種

〒012-0111 本社 秋田県稲川町 ℡(0183)(42)2125
〒019-0504 十文字町本町 ℡(0182)(42)0032
〒012-0844 湯沢市田町 ℡(0183)(73)2588

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門
寺田染工場
横手市清川町 ☎32－0416

新年のご挨拶

第二十一普通科連隊長兼秋田駐屯地指令
一等陸佐　海沼　敏明

平成十五年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

消防業務の第一線で日夜献身的に職務を遂行され、ご活躍される消防関係者の皆様の御努力に対し敬意を表しますとともに平素から自衛隊に対するご理解とご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は八月二十八日の防災訓練（大曲・仙北）、八月三十日の防災訓練（秋田市、更に九月三日能代市で行われた県総合防災訓練への参加を通じて防災関係機関との連携を深めるとともに、訓練では自衛隊のもつ災害対処能力等を広く県民にご理解いただけたものと確信しております。

また、十月十九日には秋田駐屯地創立五十周年記念行事の一環として三十二年ぶりに秋田市（山王地区）及び土崎地区においてパレードを実施して、自衛隊員の真摯な姿を広く県民、地域の皆様にご披露させて頂き、県民の自衛隊に対するご理解とご関心・期待の高さを改めて痛感致した次第であります。

国民のご期待に応えるべく自衛隊としても、テロ特別措置法、情報収集出動の新設等をはじめとする自衛隊法の改正がなされ、有事法制の審議が活発に論議される昨今において、まさに「存在する自衛隊から行動して評価される自衛隊」を目指して、不断の訓練の重要性を深く隊員に認識させ、県民の生命・財産を守るため、今後とも秋田県内における各種の災害等を想定した計画を継続的に見直しつつ、防災関係機関との連携をより一層深めながら、各種の訓練を積み重ねていきたいと考えております。

本年も、秋田県民にとって平穏な一年でありますように心から願うものであります。

終わりに、消防関係者の皆様の安全と益々のご健勝・ご発展をご祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。

年頭のごあいさつ

秋田県市長会会長
秋田市長　佐竹　敬久

全県消防関係者の皆様に、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

また、皆様には、日夜、消防使命の達成のため全力を尽くされておりますことに、心から敬意を表し、深く感謝申し上げます。

さて、わが国の消防は、昭和二十三年の消防組織法施行以来、自治体消防の原則のもと、消防需要の増大、高度化、専門化への的確な対応等貴様方の不断のご努力により着実な発展を遂げられ、地域社会の安全確保と住民の安寧に大きな役割を果たしてまいりました。

特に、阪神・淡路大震災を教訓として、地域住民に密着する自治体消防には、災害に対する防災対策等の一層の充実強化が強く望まれ、消防救急体制の充実に努めるとともに、防災訓練の実施や情報収集・伝達網の充実、初動体制の確立など、防災体制の強化を進めてきたところであります。

しかしながら、県内を見ましても、昨年は、集中豪雨水害や発煙硫酸の漏出事故など数々の災害が発生し、また、昭和町での十九棟全焼など火災事故により多くの尊い生命と貴重な財産が失われるなど、災害や事故の様態は複雑多様化し、かつ発生の形態も大きく変化しております。

災害のない安全で住みよい社会の実現は、県民すべての願いであり、これまで築きあげられた消防に対する住民の深い信頼と期待に、なお一層応えていくことが、重要な課題となっております。

市長会といたしましても、災害への対応等を住民サービスの重要課題の一つと捉え、今後とも、国に対して、消防施策に対する財政措置の強化や、大規模地震対策、被災者支援制度の充実などについて、積極的かつ適切な措置が講じられるよう働きかけてまいります。

目まぐるしく変化する社会環境のもと、消防の果たすべき役割は広範多岐にわたり、そして期待される責務もまた一段と重きを増しております。どうか皆様におかれましても、地域社会の安全を担うリーダー役として、なお一層のご精進とご尽力を賜りますようお願い申しあげる次第でございます。

終わりに、今年こそは平和な一年でありますことを願い、関係各位のご健勝とご発展を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

年頭にあたって

秋田県消防長会
会長　佐藤　正敏

平成十五年の輝かしい新春を迎え、県内の消防関係者のみなさまに謹んで年頭のごあいさつを申しあげます。

今年は、自治体消防発足五十五周年を迎える節目の年でありますが、この間、関係者各位のたゆまぬ努力により組織、施設、装備等の各般にわたり着実な発展を遂げ、地域に密着した防災機関として県民から厚い信頼をいただいております。

昨年の災害の動向を見ますと、国内では台風による水害、土砂災害など大規模な自然災害が発生し、社会生活に大きな不安をあたえるとともに、消防をはじめとする行政サイドの今後の施策のあり方にも大きな影響と課題が残されました。

また、国外ではインドネシアバリ島など世界各国で、いまだにテロが発生しています。私的生活を脅かし罪もない多くの人々を犠牲にするテロが世界から根絶することを祈って止まません。国内においてもテロ災害の発生が危惧され、大規模災害に備えた消防広域応援体制の整備と活動技術の錬磨をさらに進めるとともに、テロ対策の対応体制整備が強く求められております。

一方、大きな転換期を迎えております救急業務に関しては、各地で消防機関と医療機関が連携し、救急救命士の行う特定行為を含めた救急隊員による救急処置の質を保証するメディカルコントロール体制の構築が進められております。疾病構造の変化や高齢化の進展などにより、ますます増加傾向にある救急需要に対応するべく、メディカルコントロール体制の構築・充実による救急業務の高度化、バイスタンダーによる適切な応急手当の普及啓発等救急体制の総合的な整備促進が重要となってきます。

近年の災害様相は、都市化の進展、消費者生活の多様化等により、複雑・大規模化する傾向を示し、予想しがたい災害の発生危険が増大しており、県民生活の安全は各自治体にとって、もっとも基本的な課題でもあることから、地域住民の消防に寄せる期待は益々大きくなっております。

秋田県消防長会といたしましても、社会の動向、地域住民のニーズを的確に捉えた消防行政を積極的に展開し、災害に強い安全なまちづくりを強力に推進していくことが重要であると考えております。

結びに、本年が災害の少ない平穏な年でありますことをご祈念申しあげ、新年のあいさつといたします。

年頭のご挨拶

秋田県町村会長　北林　孝市

新年を迎え、謹んでご挨拶を申し上げます。

はじめに消防関係並びに地域住民の皆様には、日頃から町村の消防行政に対しまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げますとともに、消防業務の第一線で、日夜献身的に職務を遂行され、ご活躍いただいております皆様には、心から敬意と謝意を表する次第であります。

さて、近年の産業・経済の発展に伴い、予測のつかない自然災害や事件をはじめ、火災、交通事故などの増加が憂慮されるとともに複雑多様化しており、地域住民の安全確保に向けた対策が早急に求められているところであります。

しかしながら、その原因は、一人一人の不注意によるものが多く、そのため貴重な人命や財産が失われる事を考えると、やはり個々が防災思想に徹し、常に細心の注意を払う事が肝要であると考える次第です。

私共町村においても機会を捉え、地域住民の防災意識の啓発、普及に努め、人命の安全確保を第一とする危機管理体制を確立しているところであり、これからは、なお一層きめ細やかな防災対策を整備して参らなければならないと存ずる次第であります。

どうか関係各位におかれましては、消防使命達成のため、益々ご精励賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして良い年でありますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

年頭のごあいさつ

秋田県指定水防管理団体連合協議会会長
大館市長　小畑　元

新しい年の幕開けを、全県の消防・防災関係の皆様とともに喜びを分かち合いながら、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

また、年頭にあたり、「今年こそは無災害を」と祈願いたしております。

昨年を振り返りますと、一昨年と同じように県南部及び県中央部において豪雨があり、水防出動がありました。

御尽力をいただきました皆様には改めて深く敬意と感謝を申し上げます。

また、日本各地からも水害の情報が聞こえてまいりましたし、海外に目を転じますとヨーロッパ各地での大水害などがあり、災害の厳しさや恐ろしさを改めて噛み締めたところであります。

被害にあわれた皆様にはお見舞いを申し上げると同時に、一日も早い復興を祈念しております。

このような災害体験を風化させることなく、より一層の防災体制の強化・充実が喫緊の課題となっております。

環境という要素を取り入れた新河川法の理念のもと、県においては、各地域毎に今後の河川整備計画を策定する委員会を設置して検討をしていると伺っております。

こうした計画の中にも、本協議会の主旨である水防体制の充実及び危機管理体制の構築が図られることを強く期待するものです。

さて、本協議会は、昭和二十七年に設立され、お陰様を持ちまして、昨年は、区切りの設立五十周年を迎えることが出来ました。

この五十周年を機に、同じく五十周年を迎えた秋田県河川治水協会との共催で、昨年の十月に記念講演会を開催し、「異常気象と水害への備え」を県内の多くの水防管理団体の皆様に聴講をいただきました。

また、平成十三年の水防法の一部改正を受け、改めて洪水ハザードマップの作成を各水防管理者に呼びかけたところであります。

今後とも、県民生活の安全を図るべく、防災組織の一翼として全力で取り組む決意を新たにしております。

水防活動の実施に当たっては消防組織の皆様方との連携のもと、一層の精進を重ねてまいりますので、本協議会に倍旧のご指導・ご支援のほどをお願い申し上げます。

終わりに、皆様の益々のご活躍とご多幸を祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。

地域の防災、災害対策に貢献！

消防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番9号　TEL018（863）1551㈹
猿田興業ビル7F　FAX018（824）3651

株式会社タカギ
秋田県横手市寿町1番28号
TEL　(0182)(32)3880

（営業種目）
日本機械自動車ポンプ
トーハツポンプ
各種消防機械器具
消防設備保守点検
キンバイホース
シバウラポンプ
各種消火器

年頭のごあいさつ

秋田県総務部長　横山忠弘

新年あけましておめでとうございます。

平成十五年の輝かしい新春を迎えるに当たり、全県の消防関係者の皆様に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様には、あらゆる災害から県民の生命、身体及び財産を守るため、日夜、献身的な御尽力を重ねておられますことに対し、心から感謝申し上げます。

さて、昭和二十三年に自治体消防が発足して以来、今年で五十五年目を迎えますが、この間、関係の方々のたゆまぬ御努力により、組織や装備等の充実強化が図られ、国民の安全の確保に大きな役割を果たしてまいりました。

その一方で、台風などによる自然災害に加えて、社会情勢を反映した新たな形の災害や事故の発生により、尊い命と貴重な財産が失われております。

こうした中で、消防に対する県民の期待は益々高まってきており、皆様におかれましては、「自らのまちは自らが守る」という消防人の自覚と誇りをもって消防技術の錬磨に励まれ、地域住民の期待と信頼に応えられますよう、なお一層のご奮闘をお願い申し上げます。

県といたしましても、災害を未然に防ぐことはもとより、災害が発生した場合には、その被害を最小限にとどめるため、平成十五年にスタートする「あきた21総合計画」の「第二期実施計画」の諸施策を着実に推進するとともに、現在修正作業中の「秋田県地域防計画第十二次修正版」に基づき、総合的な防災対策を実施してまいりたいと考えております。

また、本年は、本県に未曾有の被害をもたらした日本海中部地震から二十年目という節目の年に当たることから、この大災害の教訓を風化させないためにも、防災訓練の実施や防災意識の高揚に努め、災害に強い県土づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、皆様からのより一層の御支援、御協力をお願いいたします。

皆様の御健勝と本年が災害の少ない平穏な一年でありますよう、心から祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

新春を迎えて

秋田県消防学校　校長　高橋光男

輝かしい平成十五年の新春を迎え、心からお喜び申し上げます。

年頭にあたり、消防協会そして関係各位に対しまして平素の献身的なご活躍とご苦労に深く敬意と感謝を申し上げます。

昨年十月、大潟村消防団の快挙がビッグニュースとして秋田へ飛び込んできました。横浜市で開催された全国消防操法大会・ポンプ車の部において、本県代表として出場した大潟村消防団が見事「大優勝」の栄に輝き、「秋田県消防協会」、「秋田の消防人」の真髄を全国に知らしめました。また、県内の消防関係者へすばらしい感動を与えて戴きました。本当におめでとうございました。

消防団の任務は、申すまでもなく、地域における第一線の活動機関として、火災はもちろん、風水害等による災害を防除し、地域住民の安全を守ることにあります。今日まで、幾星霜を重ね、消防団の名誉ある伝統と、輝かしい実績を築いてこられました皆様におかれましては、「安全・安心で楽しく暮らせる秋田」づくりのために、ますますの活躍をご期待申し上げます。

先般、社会環境の変化等に伴う消防団が直面する様々な課題について検討している「新時代に即した消防団のあり方に関する検討委員会」から、消防学校における消防団員教育のあり方等を含む第二次報告がありました。消防学校といたしましてもこの報告を真摯に受け止め、消防協会、各消防団等関係機関のご意見、ご要望を踏まえ、「一日入校」、「出前講座」等の教育機会拡大の可能性を検討し、消防教育機関としての役割を柔軟に果たすべく努力を重ねて参りたいと考えております。相変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます。

むすびに、消防協会のますますのご発展と皆様のご健勝を祈念申し上げ、挨拶といたします。

年頭にあたって

秋田県消防協会　副会長　奥山利八

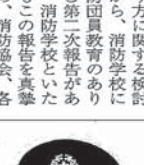
新年あけましておめでとうございます。平成十五年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと疾風の、気象変化による災害に翻弄された年でありました。昨年暮れからの積雪も多く、二月、昭和町で十九棟が焼失した大火が発生し、三月には、異常高温による原野森林火災が全国的に発生しました。四月には、首都圏内で真夏日を記録し早い桜前線北上と共に東北地区も山林火災も併せ多発をまねきました。六月下旬、秋田製錬所で硫酸漏れ事故があり化学的災害処理の複雑を痛感した次第です。七月、台風六号、七号により県内豪雨にみまわれ、十一日、県消防大会が中止となり準備万端整えていた地元鹿角市消防関係者のご労苦に感謝申し上げるとともに出動した消防団の皆様にご慰労申し上げる次第です。真夏に入り北冷西暑の気候となり、八月の熱帯夜がたった一日という真夏の梅雨的日々が続きました。十一月、早々の積雪があり、十二月十日、関東地方に記録的な大雪等、自然の意のまま悩まされた一年でしたが、昨年消防団活動に燦然と輝いたのがあります。大潟村消防団が第十八回全国消防操法大会でポンプ車の部で優勝した快挙であります。八年の仙南村消防団が小型ポンプの部で優勝以来二度目で、県民の防災意識の向上を促すとともに、秋田県消防団の誇りであります。大潟村消防団に衷心より敬意と感謝を申し上げる次第です。今後の消防団活動はすべての災害に対応が求められておりますが、産業構造の変化と人口減少高齢化にともなう団員数の減少が一段と懸念され、大規模災害等の対応が憂慮されているところであります。

昨年、サッカーW杯が引き金になり、その後、国際情勢の流れから国家民族意識が高まりつつあります。

年頭にあたって

秋田県消防協会　副会長　中泉松之助



平成十五年の新春を迎え、県内の消防関係者の皆様に謹んで新春のお慶びを申しあげます。

皆様におかれましては、日ごろ、火災をはじめとする各種災害から地域住民の生命、身体、財産を守るため日夜献身的に活動されていることに対し、心から感謝申しあげますとともに敬意を表するものであります。

さて昨年を振り返りますと、本県においては、六月には秋田市の製錬所における発煙硫酸漏出事故があり、また七月から八月にかけて台風、大雨の影響で秋田県全域にかけて住家などに被害が発生しました。あらためて河川の整備と緊急時の連絡体制が重要なことを認識させられました。

また国内では、台風による水害、土砂災害など大規模な自然災害が発生しており、自然の脅威を改めて見せつけられたところであります。

さらに国外に目を向けますと、一昨年起きた同時多発テロが米国にとどまらず、インドネシアバリ島など世界各国で発生しています。昨年十月には国内でのテロ事件発生に備えたテロ対策の再点検等について厚生労働省から都道府県へ通達があり、連携の強化、必要な資機材の整備など適切な対応が求められたところです。

高度成長がもたらした安全で平和な生活環境も、社会情勢の進展により大きく変貌しつつあり、生活の高度化が生んだともいえる今まで経験したことのない事故が発生するに至り、新しい災害に即応した消防体制の早期確立が求められております。

また平成十四年の本県の高齢化率は二十四・三パーセントと全国の上位にランクしています。このため、救急需要の増大、大規模災害時の各地域における救命活動など、各市町村で整備が、今後の重大な課題となっております。

このような社会や災害の状況変化に対応するための政策の一つとして、国の消防行政重点施策に消防団の充実強化が掲げられております。昨年十一月には、地方公共団体職員による消防団への入団促進について通達があり、消防庁から都道府県へ、地域の密着した事務、事業を担っている市町村や都道府県職員、郵便局員の加入を促進するなど消防団の充実強化を一層推進しようとしており、安全で災害に強い郷土をつくるため、地域に根ざし、地域住民に頼られる力強い消防団体制づくりに積極的に取り組んでいただきたいと思います。

本年もこうした社会の要請に応えるべく、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げますとともに、消防関係各位のますますのご健勝とご隆盛を祈念申しあげ、年頭のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

秋田県消防協会　副会長　中田潤

平成十五年の輝かしい新春を迎え、県内消防関係者の皆様に謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、日夜火災をはじめあらゆる災害から地域住民の生命、身体、財産を守るため献身的なご活躍をされておられますことに対し、深く敬意を表しますとともに、心から感謝申し上げます。

また、当消防協会の事業運営に関しまして、日頃からご支援とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

はじめに昨年の十月二十四日横浜市において、第十八回全国消防操法大会が開催され、本県代表の大潟村消防団（第三分団）がポンプ車操法の部において並み居る強豪チームを相手に、見事優勝を成し遂げ日本一の座に輝いたのであります。平成四年の軽可搬ポンプ操法の部で雄和町萱ケ沢婦人消防隊、平成八年の小型ポンプ操法の部での仙南村消防団の優勝に次ぐ快挙であり、三部門を制覇した我が秋田県消防にとりましては誠に大きな誇りとなった訳であります。また、大潟村消防団（第三分団）の皆様に対しまして優勝までの長いご労苦に敬意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。

さて、昨年の災害を顧みますと国外では、火災をはじめ、地震、火山噴火、台風、集中豪雨などの災害が数多く発生し大きな被害をもたらしました。また、一昨年に米国で発生した同時多発テロの後もテロ災害が相次いで発生し、我が国でもテロ発生時の対応について、危機管理体制の点検、事前情報への対応、核物質、生物兵器、化学兵器によるテロ対応が強く求められているところであります。

国内においても各地で火災、地震、台風、集中豪雨など電気、ガス、水道などのライフラインに影響を及ぼす災害が数多く発生しました。

このような状況の中、一昨年新宿区歌舞伎町で発生した雑居ビル火災により四十四名もの尊い生命を失った経験を踏まえ、消防法が二十八年ぶりに大幅に改正され、違反処理を厳正に執行できるようにするとともに、防火管理体制の徹底、罰則の強化などの対策が講じられ、平成十四年十月二十五日から施行されました。

また、県内では昨年の二月十一日早朝、昭和町において住家・非住家合わせて十九棟を全半焼し、死者一名、傷者三名を出す火災が発生し、厳寒の中多くの被災者が避難生活を強いられました。

また、春先の三月から五月にかけては雪解けが早かったことと空気が非常に乾燥した日が続いたため、県内各地で原野火災や林野火災が多発し、更に八月には記録的な集中豪雨により全県で床上、床下浸水、土砂崩れ、河川の氾濫、水田の冠水など住民生活に不安を与え大きな被害をもたらしました。

このように予測しがたく、益々複雑多様化、長期化、広域化する災害の発生に際し、迅速に大量の人員を導入して活動する消防団に対する住民の期待と信頼は益々高まってきており、地域のすみずみまでおよぶ情報力、迅速な対応力など消防団の力が高く評価されております。

一方一向に回復しない経済不況、財政構造改革、地方分権、少子高齢化、企業の倒産、リストラによる失業者の増加、市町村合併など急激な社会情勢の変化などにより社会環境は厳しさを増すばかりでありますが、消防団は災害や社会情勢の変化に対応して、地域住民の期待と信頼に応えるべく、地域防災のリーダーとして地域に密着した消防防災、予防広報活動を展開するとともに、知識技能の習得向上に努められ、地域住民が安全で安心して暮らせる災害に強いまちづくりを目指し尚一層ご研鑽、ご協力をくださるようお願い申し上げます。

終わりに本年が災害のない平穏な一年であることを、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ新年のごあいさつといたします。

国土を護り国民の生命財産を護る意味、消防活動の目的である住民の生命身体及び財産を護るという共通の輪が認識されつつあります。地域に密着する消防団活動こそ民生安定のため必要不可欠なものであると思います。

平成十五年の新年に当たり、郷土愛護の精神をより高揚し、消防団活動に勵進することを祈念し、新年のご挨拶と致します。

お詫びと訂正

「消防秋田」十二月号の消防職員初任教育修了生の感想文に誤りがありました。

表題「六ケ月を振り返って」を「六年間を振り返って」と誤って紹介いたしました。訂正してお詫び申し上げます。

消防秋田

題字　初代会長　松野盛吉
定価　1部　5円
（購読料は年会費に含む）
発行人　〒010-0001
秋田市中通4丁目3－23
秋田県消防協会
会長　柴田康二郎
電話　018－832－3791
FAX　018－834－2706
印刷　〒010-0951
秋田市山王7丁目5－29
株式会社　松原印刷社
電話　018－862－8760

平成十五年

新春を飾る消防出初式

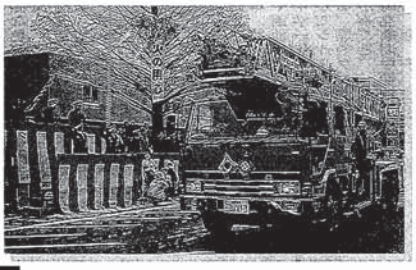
勇壮な「まとい」演技披露（大館市）

新春を飾る恒例の消防出初式が、一月四日山本町を皮切りに、県内各市町村において消防職・団員及び消防関係者が参列し、家族をはじめ地域住民等多数が見守る中、防災への決意を新たに盛大に出初式が行われた。

秋田市では、五日午前十時から消防本部前けやき通りを会場に消防車両四十八台、消防職・団員など総勢千二十五人が整列し、千葉県副知事、佐竹市長などの観閲を受けた後、分列後進や防水演技を披露し、野外行事が終了、続いて文化会館において表彰式が行われ県知事表彰、県消防協会長表彰、市長表彰などが行われ終了した。

また、五日横手市では、「消防ラッパ隊」の高らかな演奏が式典に花を添えた。六日、大館市では、防火防災の決意を新たに「神田振り」「木やり振り」など力強くまとい振りが演じられ、大曲市においては、防災への誓いを新たに勇壮な「消防太鼓」が披露されるなど各市町村独自の出初式が行われた。

パレード（秋田市）



消防太鼓による勇壮な演技披露（大曲市）

放水演技披露（秋田市）

平成十四年度全国統一防火標語

消す心　置いてください　火のそばに

平成十四年度

消防功労者表彰

（秋田県・秋田県消防協会）

秋田県・㈶秋田県消防協会は、永年にわたり消防の職務に精励し、消防の使命達成に尽力された市町村の消防職・団員及び関係者の方々の功労に報いるため、毎年一月一日の佳き日に表彰しているが、平成十四年度の表彰は次の方々であり、各市町村の消防出初式において伝達された。

秋田県知事表彰

◎有功章
秋田市消防団
分団長　三浦紀雄
他二八五名

◎永年勤続功労章
能代市消防団
分団長　三浦滿郎
他一九名

◎永年勤続章
○三十五年以上
秋田市消防団
分団長　小西健
他八五名

○三十年以上
秋田市消防団
分団長　新関弥壽喜
他四一五名

○二十五年以上
秋田市消防団
分団長　大渕孝三郎
他四六七名

○二十年以上
秋田市消防団
副分団長　小林正一
他六六五名

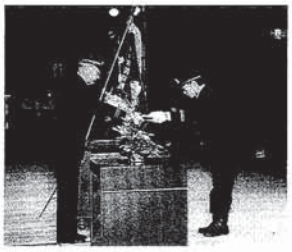
秋田県消防協会長表彰

◎功労章
鹿角市消防団
班長　田原光之
外一八名

◎勤続章
鹿角市消防団
団員　齋藤昇
外六六五名

◎精勤章
鹿角市消防団
団員　古舘国光
外八四二名

◎顕功章
元大館市消防団
分団長　斎藤亮一
外一一九名



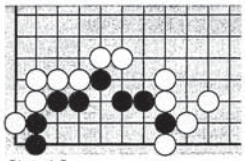
新団長紹介

大館市池内字池内九十四番地
団長　戸田達雄

【とだ・たつお】
昭和九年九月一日生まれ六十八歳、昭和四十年二月五日入団、班長、部長、分団長、副団長を経て平成十四年十二月二十日付けで団長に就任（農業）

詰碁コーナー

問題　黒先（5分で四段）



【ヒント】
生きる急所はただひとつ。

（関西棋院囲碁ダイアリーより）

消防団員のための
消防互助年金
10年確定年金
10年保証終身年金
特別年金
年金は毎年3％複利で逓増
年金開始前の死亡・解約に一時金
加入申込みは消防事務担当へ

森田ポンプ　ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管　消防被服一式
各種消火器　消防機器一式
株式会社　協立
株式会社　能代消防センター
能代市柴町12の3　〒016-0846
TEL　(0185)(52)6361
(52)6494

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
綜合防災設備センター
株式会社　高義商会
（営業種目）
トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種
〒012-0111　本社　秋田県稲川町　℡(0183)(42)2125
〒019-0504　十文字町本町　℡(0182)(42)0032
〒012-0844　湯沢市田町　℡(0183)(73)2588

平成十四年度 防災ポスター入選作

平成十四年度防火ポスターコンクール（主催、秋田県、秋田県消防協会、後援、秋田県教育委員会、秋田魁新報社）の入選作が決まりました。

県内の小中学校を対象に防火意識を高めてもらおうと毎年行っており、三十三回目の今年は、小中学校合わせて三十二校から六一六点の応募がありました。

審査の結果次の皆さんが入選され、入選作品は二月十五日から二月二十三日まで秋田駅東西自由通路、通称「ぽぽろ～と」に展示し、その後秋田消防学校防災センターに一年間展示いたします。

◎審査員
・佐々木信吾（元秋田南中学校長、元秋田市造形教育研究会長）
・藤沢　実（秋田魁新報社、文化部長）
・秋田県、秋田県消防協会

入賞者

【小学校の部】

一席
○角館町立角館東小学校
六年　菅原由惟
「火事は多くのものをなくしマス」のコピーと、画面いっぱい自分の大事なものを並べて描いているのが効果的、炎の中の素直なかわいいイラストが白地の中で映えている。

二席
○協和町立稲沢小学校
一年　佐々木達哉
「かじは人をえさにする」のコピーで、炎を悪魔の顔にみたてて明るく伸び伸びと表現し、一年生らしくクレヨンで力強く塗り込んでいるのも良い。
○秋田市立寺内小学校
六年　柿崎理璃子
子どもらしいさわやかなポスターに仕上げ、明るくスッキリした色調が目をひく。

三席
○藤里町立米田小学校
一年　かつらだこうた
炎と天ぷらなべ、人物を画面いっぱいに大きく描いている。ストレートに危険を訴えています。
○大曲市立大曲小学校
三年　寺村悠希
力いっぱいクレヨン、パスを塗り込んでいる姿がみえるよう。形や色が単純に整理され強い表現となっている。
○藤里町立藤里小学校
六年　細田万里奈
訴えたいイメージを焦点化し、画面真ん中に大きく表現し、ユーモラスのある明快な作品である。

佳作
○藤里町立米田小学校
一年　あべしゅんたろう
○藤里町立米田小学校
二年　小森大洋
○大曲市立角間川小学校
二年　田中しん太ろう
○大曲市立大曲小学校
三年　小笠原みく
○大曲市立大曲小学校
三年　本田充
○能代市立向能代小学校
四年　加賀咲来
○西仙北町立刈和野小学校
五年　有坂みずき
○南外村立南楢岡小学校
五年　伊藤万紀子
○大曲市立大曲小学校
六年　柏谷果穂
○大曲市立大曲小学校
六年　室谷実由
○大曲市立大曲小学校
六年　米澤樹子
○角館町立角館東小学校
六年　藤枝千尋

【中学校の部】

一席
○太田町立太田中学校
三年　高橋大輔
タバコを擬人化したデザインが、中学生らしいユーモアあふれ、秀でたポスター。文字や斜めしま模様のバック、色調等よく考えられ、工夫されている。

二席
○大曲市立大曲中学校
一年　三浦真央
「脂一本で…」のコピーと、すっきり単純化された画面が見事、人物やストーブの表現もテーマにピッタリで、気負いなく品良くまとめている。
○太田町立太田中学校
二年　高橋陸
黒いシルエットの親子の表現が効果的で、朱色の文字と対比が強いポスターにしています。

三席
○太田町立太田中学校
二年　高橋由佳
「森の悲鳴がきこえますか」のコピーと緑の美しさが地球環境問題を呼びかけ、清潔な色調の画面が印象的である。
○中仙町立中仙中学校
二年　高橋彩夏
コラージュ（写真や絵のはり合わせ）の技法を生かした中学生らしい表現で、下半分の炎と上半分の処理が生きているユニークな作品である。
○中仙町立中仙中学校
一年　武田翔平
構想や画面処理、表現方法など中学一年生とは思えない感性でシャープに仕上げている。黒やグレーのイラストがみごと。
○象潟町立象潟中学校
一年　金子絵里奈
タバコやみどりの表現を精密描写でまとめ、レタリングを含め研ぎすましたような画面で迫力がある。

佳作
○八竜町八竜中学校
一年　田森希海
○象潟町立象潟中学校
一年　加藤真史
○太田町立太田中学校
一年　高橋沙織
○鹿角市立花輪第一中学校
二年　鎌田康隆
○八竜町立八竜中学校
二年　畠山麻由
○大曲市大曲中学校
二年　草薙美里
○中仙町立中仙中学校
二年　木元理絵
○太田町立太田中学校
三年　小松千絢
○太田町立太田中学校
三年　高橋孝則

小学生の部

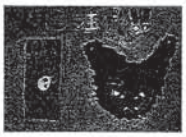
1席 菅原由惟

2席 佐々木達哉

2席 柿崎理璃子

3席 かつらだこうた

3席 寺村悠希



3席 細田万里奈

中学生の部

1席 高橋大輔

2席 三浦真央

2席 高橋　陸

3席 高橋由佳

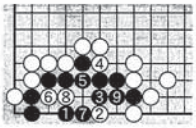
3席 高橋彩夏

3席 金子絵里奈

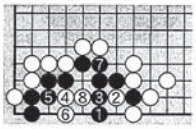
3席 武田翔平

解答
黒先イキ

【正解図】
黒1が生命点。あと白2なら黒3とぶつかって生き。



【参考図】
黒1は白2と抜かれてうまくいかない。



地域の防災、災害対策に貢献！

消防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番9号　TEL018（863）1551㈹
猿田興業ビル7F　FAX018（824）3651

株式会社タカギ
秋田県横手市寿町1番28号
TEL　(0182)(32)3880
（営業種目）
日本機械自動車ポンプ
トーハツポンプ
各種消防機械器具
消防設備保守点検
キンバイホース
シバウラポンプ
各種消火器

▲一般のお客様
1人室（洗面所、トイレ付）　¥3,500
2人室（バス、トイレ付）　¥7,000
▲会員の方
1人室（洗面所、トイレ付）　¥3,200
2人室（バス、トイレ付）　¥6,400
ホテル あきた
秋田市中通4丁目3の23
（秋田県消防会館内）電話018(832)4111

消防秋田

題字　初代会長　松野盛吉
定価　1部　5円
(購読料は年会費に含む)
発行人　〒010-0001
秋田市中通4丁目3－23
秋田県消防協会
会長　柴田　巌二郎
電話　018－832－3791
FAX　018－834－2706
印刷　〒010-0931
秋田市山王7丁目5－29
株式会社　松原印刷社
電話　018－862－8760

平成十五年 春の火災予防運動

四月六日(日)から十二日(土)まで実施

火の用心・六つのポイント

1. 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
2. 寝たばこやたばこの投げ捨てはしない。
3. 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
4. 子供には、マッチやライターで遊ばせない。
5. 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
6. ストーブには、燃えやすいものを近づけない。

鳴り響く消防車のサイレンの音。私達はその音を聞きなれてしまった為に、聞こえてきても当たり前のように考えてしまうようになってしまいました。

「ああ、また火事か。今度はどこで。」

私達の身近で火災が起き、それを経験したという人は、ほとんどいません。だから『私達は大丈夫』と思ってしまうのでしょう。その安心感が火災の恐ろしさを、ふと忘れさせてしまっているのです。私も、火災についての知識なんてなく、何とも思ってなかったのですが、テレビで火災の番組が入っていた時は、関係ないなんて、思えませんでした。

映っていた光景。それは、火災の恐ろしさをまさに実感させられるものでした。火災で家をなくし、体中に大きなやけどを負っている人達。たくさんの煙を吸いこみ、一酸化炭素中毒になってしまった人達。

火災は、大切な人の命や、大切な物全てを奪っていきます。もちろん、それを守ろうとは思うでしょう。しかし、どうすることもできない。そんなの、悔しいと思いませんか。火災のことさえ知っていれば、きっと万が一の時に、大切な物を失わずに済むのです。

どんな火災にも原因はあります。では、どのようなことが原因となるのでしょうか。

寒い季節、どこの家も多く使用するストーブなどの暖房器具。近くのものに火が移ってしまったり、タバコの火の不始末を原因として火災が起こったりもします。よく聞くこの二つのことから考えると、火災の原因は人の不注意からおきていたのです。

「私には関係ない。」

そんなことはありません。人に起こったということは、自分にも起こり得る事かもしれないのです。

いつ起こるかわからないのが火災です。だからこそ、油断してはいけないと思います。

これから先、火災がなくなることはないかもしれません。しかし、少なくすることはできます。そのためには、人が防火について知り、行動を起こせるようにしなければなりません。どんなことでも、少しずつ、原因を減らしていくために、真剣に考えていくことが大切だと思います。

今、私達は、火災の為に、避難訓練というものを行います。火災を想定して、どのように避難するか、消火器はどう使うかなどを教わります。このように、少しでも防火に対しての意識を持っていくこと、それが一番大事だと思います。

私達の命は、人の手によって失われてはいけません。なぜなら、大切な物も、人も、自分の命も、守りたいと思う物全て、失った時のダメージはきっと…とても大きい物だから。

小さい原因も少しずつなくしていきましょう。大きな被害を出してしまう前に…。

財団法人秋田県消防協会
大館北秋田支部

平成十四年度
防火作文コンクール

最優秀賞作品
「火災について考えて」

阿仁中学校二年
伊藤　さおり

平成十四年度全国統一防火標語

消す心
置いてください
火のそばに

第五十五回 日本消防協会定例表彰式

平成十四年度日本消防協会定例表彰式が二月七日(金)、東京都港区虎ノ門、日本消防会館「ニッショウホール」で行われた。

表彰式には、全国各都道府県から被表彰者(代表)、消防関係者等多数参集し、盛大に挙行された。

本県関係の受章者及び受賞団体は次のとおりであります。

○優良消防団(表彰旗)　一団
○優良消防団(竿頭綬)　三団
○功績章　二五名
○精績章　五四名
○勤続章　三七四名
○優良婦人消防隊　一隊
○優良婦人消防隊員　一名

表彰式には、表彰旗を受賞された男鹿市消防団(小野健一団長)ほか、竿頭綬、増田町消防団(季子和春団長)、功績章、小坂町消防団本田隆爾団長、精績章、合川町消防団吉田嘉隆団長、勤続章、山本町消防団平賀馨副団長、優良婦人消防隊山本町婦人消防隊(金子咲子隊長)、優良婦人消防隊員、本荘市赤田婦人消防隊矢作アイ子隊長が参列した。

なお、他の受賞については、三月十八日(火)秋田県庁第二庁舎(八階大会議室)において行われる平成十四年度消防功労者表彰式において伝達されます。

精績章受賞者代表
合川町消防団長　吉田　嘉隆

日本消防協会 平成十四年度消防車輌交付式

●鹿角市消防団に指揮広報車
●仁賀保地区消防団に司令車

平成十四年度共済事業消防車両等交付式が二月六日(木)、東京都港区虎ノ門(ホテルパストラル)で行われた。

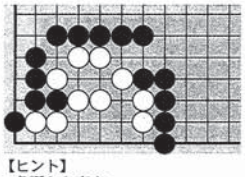
本県は、鹿角市消防団(菅原徳弥団長)に指揮広報車、仁賀保地区消防団(佐藤勝男団長)に司令車の交付決定書が交付された。

仁賀保地区消防団佐藤団長
仁賀保地区本部高橋消防隊長

鹿角市消防団菅原団長
広域消防本部齊藤次長

詰碁コーナー

問題　黒先(5分で五段)



【ヒント】
急所から盲点へ。

消防団員のための
消防互助年金

10年確定年金
10年保証終身年金
特別年金
年金は毎年3％複利で逓増

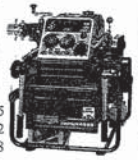
年金開始前の死亡・解約に一時金

加入申込みは消防事務担当へ

森田ポンプ　ラビットポンプ
桜ホース・ソフト吸管　消防被服一式
各種消火器　消防機器一式

株式会社 **協立**
株式会社 **能代消防センター**
能代市柴町12の3 〒016-0846
TEL (0185)(52)6361
(52)6494

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店
綜合防災設備センター
株式会社 **高義商会**
(営業種目)
トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0111　本社　秋田県稲川町　TEL(0183)(42)2125
〒019-0504　十文字町本町　TEL(0182)(42)0032
〒012-0844　湯沢市田町　TEL(0183)(73)2588

消防職員意見発表秋田県大会

第二十六回消防職員意見発表秋田県大会が、二月二十日(木)秋田市文化会館において開催された。

県内各消防本部から選抜された十六名の消防職員が体験談や問題意識をもってそれぞれ発表があった。審査の結果、最優秀賞に秋田市消防本部藤井健太郎、優秀賞に能代地区消防本部渡邊智仙の両氏が選ばれた。

最優秀賞の藤井健太郎さんは、四月十七日(木)、盛岡市で開催される東北大会に秋田県代表として出場します。

!!ご健闘を祈ります!!

最優秀賞

「血に染まったゲレンデ」

秋田市消防本部
秋田南消防署
消防副士長　藤井健太郎

「危ない！誰か助けてください。」

白銀のゲレンデは一瞬のうちに血で赤く染まり、そこにはスキーで転倒した男性が横たわっていました。

学生時代からスキーに親しんできた私は、休暇を利用してスキー場に出かけることが多く、この日も仲間達と共に、難所と言われるコースに挑戦していました。その急勾配だった斜面で事故は起こったのです。

「わかりますか、大丈夫ですか。」

私が声をかけても男性の意識ははっきりせず額からはおびただしい血が流れ出ていました。

私はすぐに、仲間へパトロール隊と救急車の要請を依頼した後、持っていたタオルで額の止血を行いました。その後パトロール隊が到着、私は男性を救急車まで見送り、その場を後にしました。

その時仲間の一人が、「藤井がいて助かったなあ。さすがに救急隊員だ。俺たちだったらできなかったなあ。」と言って、私の肩を叩き労をねぎらってくれました。

幸い男性は大事には至らず、病院で受診した後、無事帰宅できたそうですが、もしも心肺停止状態になっていたら、と思うと不安がよぎりました。

救急事故は、いつ、どこで、誰が遭遇するかわかりません。事故に遭遇した人にも家族はいるはずです。倒れた人がたとえ他人であっても、人を思いやる気持ちは家族同様に持って欲しいと思うのです。

やがて、倒れた人すべてが、誰からでも平等に手当を受けることができるよう、私たち救急隊員は、そんな温かい街が訪れることを願って、今後も努力をしていかねばなりません。

後日、スキーの仲間たちは、私の説得に考えを新たにしてくれました。ゲレンデの危険性をいちばん良く理解している彼らにとって、スキーの講師はいわば、人の命を預かっていると言っても過言ではないからです。

私はこの出来事をきっかけに、普段の救命講習会では受講者の方々に対し、手技の習得のみにとらわれず、むしろいちばん大切な、いざという時に「手当を行える勇気」に重点を置いて、スキーを通して学んだ、「手当を行う心」を、市民の方々に訴え続けていきたいと思います。

やがて、秋田市が作り上げるであろう、「救命」という文化都市が訪れることを願って。

秋田県自主防災組織育成指導者研修会

主催・秋田県（秋田県少年婦人防災委員会）、共催・財団法人日本防火協会、後援・財団法人秋田県消防協会は、災害時における地域住民の自主防災体制を確立するため、自主防災組織の結成促進、育成強化を図る必要から、県内三地域（秋田市・能代市・横手市）において、町内会長をはじめ、市町村の防災担当者等を対象に、「防災に関する知識・自主防災組織の運営の実例・防災気象の基本的知識」等について研修を行った。

自主防災組織は大規模災害発生時に公的防災機関の補完的役割を担うもので、阪神・淡路大震災の教訓などから関心が高く、各会場とも成功裡に終了した。

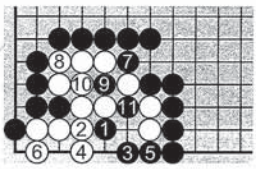
新団長紹介

南秋田郡若美町消防団
団長　鈴木　隆
（すずき・たかし）
昭和十三年十二月二十七日生まれ六十四歳。昭和三十四年四月一日入団、班長、部長、分団長、副団長を経て平成十五年二月一日付けで団長に就任。（農業）

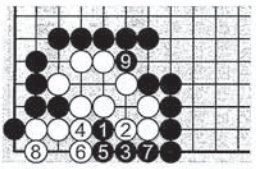
南秋田郡井川町消防団
団長　三浦　喜美雄
（みうら・きみお）
昭和十一年十二月十三日生まれ六十六歳。昭和三十九年三月一日入団。班長、副分団長、分団長、副団長を経て平成十五年二月一日付けで団長に就任。（農業）

詰碁解答

黒先白死



【正解図】黒1が急所。以下白6の時、黒7が盲点で白死。



【参考図】白2なら黒3で結果は同じ。

自治体消防五十五周年記念事業

◆事業の趣旨
昭和二十三年に自治体消防制度が発足し、以来五十五年が経過し、その間、国民の生命・身体・財産を守るため、幾多の大災害との闘いを繰り返しながら、たゆまぬ努力により、われわれ消防関係者が望んでやまない近代消防への道を着実に歩んできた。ここに自治体消防制度発足五十五周年を記念し、全国の消防団・職員をはじめ、消防防災関係団体並びに国民各界の代表が一堂に会し、国民とともに新しい世紀を担う消防に課せられた使命の重要性を改めて認識し、更に安全で住みよい地域そして日本を築いていくよう精進することを互いに誓い合うことを趣旨とする。

◆自治体消防五十五周年記念大会
（平成十五年十一月二十日東京ドーム）

◆主　催
(財)日本消防協会・(財)日本防火協会

◆共　催
各都道府県消防協会・(財)日本防火協会
(財)全国消防協会・世界義勇消防連盟

◆後　援
総務省消防庁・全国知事会
全国市長会・全国町村会

○テーマソング歌詞募集
来る11月20日に行われます自治体消防55年記念大会開催に際し、全国の消防団員・消防職員等とその家族を対象に、テーマソングの歌詞を募集します。

○題　名
「きみを守る・フォーエバー」

○応募締め切り
平成15年5月31日(土)　消印有効

○優秀作
1点「10万円と副賞」
（記念大会ご招待）

○佳　作
5点「3万円と副賞」

○ご応募送り先
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-9-16　消防会館内
55周年記念事業準備事務局
応募作品には必ず、所属団体名、ご住所、電話番号、お名前を明記してください。
質問などお問い合わせ先
TEL(03)3500-3831
又は県協会　TEL018(832)3791

○スローガン
『つなごう　愛・勇気・ちから』
自治体消防55周年を迎え、「人間愛」と「勇気」でこれまで培ってきた郷土を守る不屈のちからを、互いに確認するとともに後世に確実に伝える消防人の心意気を揚げて、みんなの気持ちをひとつにする大会をイメージするものとした。

○シンボルマーク
シンボルマークは、わが国の国土を象徴する富士山に、火災や自然災害を表す荒波、消防団員・消防職員の記章を合体して真中に配し、火災や災害に果敢に立ち向かう頼もしい消防人の姿をイメージした。

○大会旗

大会旗は、シンボルマークを基本にしてアレンジ・デザインした。

地域の防災、災害対策に貢献！
消防　ポンプ自動車　小型ポンプ　ホース
設備　火災報知器　スプリンクラー　消火器
猿田興業株式会社
秋田市山王六丁目10番9号　TEL018（863）1551㈹
猿田興業ビル7F　FAX018（824）3651

株式会社タカギ
秋田県横手市寿町1番28号
TEL　(0182)(32)3880
（営業種目）
日本機械自動車ポンプ　トーハツポンプ　各種消防機械器具　消防設備保守点検
キンバイホース　シバウラポンプ　各種消火器

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門
寺田染工場
横手市清川町　☎32－0416